

2025年度 決算説明会

2026年5月13日
株式会社ツムラ

01

長期経営ビジョン2031の実現に向けて

02

2025年度決算

03

2026年度計画・業績予想

一人ひとりの、生きるに、生きる。

TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031

一人ひとりのライフステージ・症状・遺伝体質・生活環境等に合わせて、漢方薬・中薬をはじめとした製商品・サービスをエビデンスベースで提供することにより、人々のwell-beingに貢献している状態

ツムラグループの価値創造領域

未病三防

治療

治未病
未病先防

重症化抑制
既病防変

再発抑制
癒後防復

養生
(予防)

漢方標準治療の拡大
漢方治療の個別化

未病の科学化
診断・治療の確立

QOL維持・改善【漢方補剤治療】
食療・薬膳【食材+生薬】

健康増進【非医薬品】
食養・食療・薬膳

漢方・生薬製剤

漢方・生薬製剤

漢方・生薬製剤・薬食同源製品

薬食同源製品

【医療用漢方事業2031ビジョン】

患者様がどの医療機関・診療科においても、
一人ひとりに合った漢方治療を受けられる
医療現場の実現に貢献している状態

E B M
漢方治療
論文掲載・学会発表
エビデンス構築

**漢方治療
標準化**
診療GL掲載

10処方以上処方医師50%以上

**漢方
標準治療
拡大**

診療GL掲載・推奨度UP

**漢方治療
個別化**

レスポンドーマーカー
AI漢方診断支援システム

漢方医学に基づき「診療領域基本処方」
を処方する医師50%以上

2020～ DXソリューションによる最適・個別化医療の実現へ

2017～ KAMPOmics[®]による多成分・複雑系漢方製剤の科学的な解明

FY2001

FY2012

FY2022

FY2031

未病三防

PDS：未病の科学化

イントロン・リテンションがうつ状態の優れたバイオマーカーに漢方薬がイントロン・リテンションを回復することが明らかに

治未病

(未病先防)

発病前の未病状態を科学的に特定し、診断方法・漢方治療を確立

重症化抑制

(既病防変)

病気の進行や次に起こる病態予測し、感染症・フレイルなどの重症化を抑制

再発抑制

(癒後防復)

がんサバイバーをはじめとした患者様の社会復帰などへの漢方補剤治療によるQOL改善



身体が本来持っている
自然治癒力を高め、健康維持・増進をはかる
(薬食同源製品)

中医薬膳学の分類				
食用	食養	食療	薬膳	食忌
健康な人		未病・病気の人		
食材		食材+生薬 (食区分*)		

【食用】 食材の種類・食事の回数などを、それぞれの場合に応じて正確に選択すること
いろいろな食材を広く取り入れること、適量であることが大事

【食養】 食材を用いて身体を養う、食養生のこと (健胃に「陳皮」、滋養に「高麗人參」等)

【食療】 食材の効能により疾病を治療、あるいは治療を補佐すること (冷え改善に「生姜」「大棗 (なつめ)」等)

【薬膳】 伝統的な薬膳とは、食材に生薬を加えて作った、病を治すための料理であり、病気の予防 (養生) ・未病・治療を補佐し、健康増進などを旨とする

【飲食禁忌】 体質や病気・養生・食材や薬の組み合わせに関するもの、妊娠中や授乳中に適用されるもの、などがある

※生薬の食薬区分
専ら医薬品として使用される生薬以外のものが食区分

【参考出典】 中医薬膳学 辰巳洋先生

【富麗華スープ】



高麗人参スープ

黒にんにくスープ

野菜スープ

【養巡スープ】



いたわる野菜ブイヨン

ぬくもるチゲ

やすまるトマト

【のど飴・たかめるのど飴】



【ジネリア】





- 1600年頃 薬酒「養命酒」の製造開始
- 1923年（大正12年）株式会社天龍館設立（養命酒製造株式会社の前身）
- 1953年（昭和28年）一般用医薬品（第2類医薬品）としての販売開始年

製品名 **薬用養命酒** 医薬品分類 **第二類医薬品**
 小分類 **薬用酒** 包装 **700mL、1000mL**

効果・効能

次の場合の滋養強壮

胃腸虚弱、食欲不振、血色不良、冷え症、肉体疲労、
 虚弱体質、病中病後

薬食同源「養生」製品



巡らせる作用



鬱金
[ウコン]



益母草
[ヤクモソウ]



紅花
[コウカ]



烏樟
[ウショウ]

温める作用



丁子
[チョウジ]



桂皮
[ケイヒ]

取り除く作用



反鼻
[ハンビ]



防風
[ポウフウ]

補う作用



人参
[ニンジン]



淫羊藿
[インヨウカク]



肉苁蓉
[ニクジュヨウ]



地黄
[ジオウ]



芍薬
[シャクヤク]



杜仲
[トチュウ]

出典：養命酒製造株式会社のHP、添付文書情報より転載

中薬飲片・一人一方高付加価値サービス事業



業界初の製造工程の自動化
技術開発を目指す



上海虹橋中薬飲片有限公司

養生領域の薬食同源製品

津村品質 平安食養



ツムラグループの生薬品質を強みとした薬食同源製品



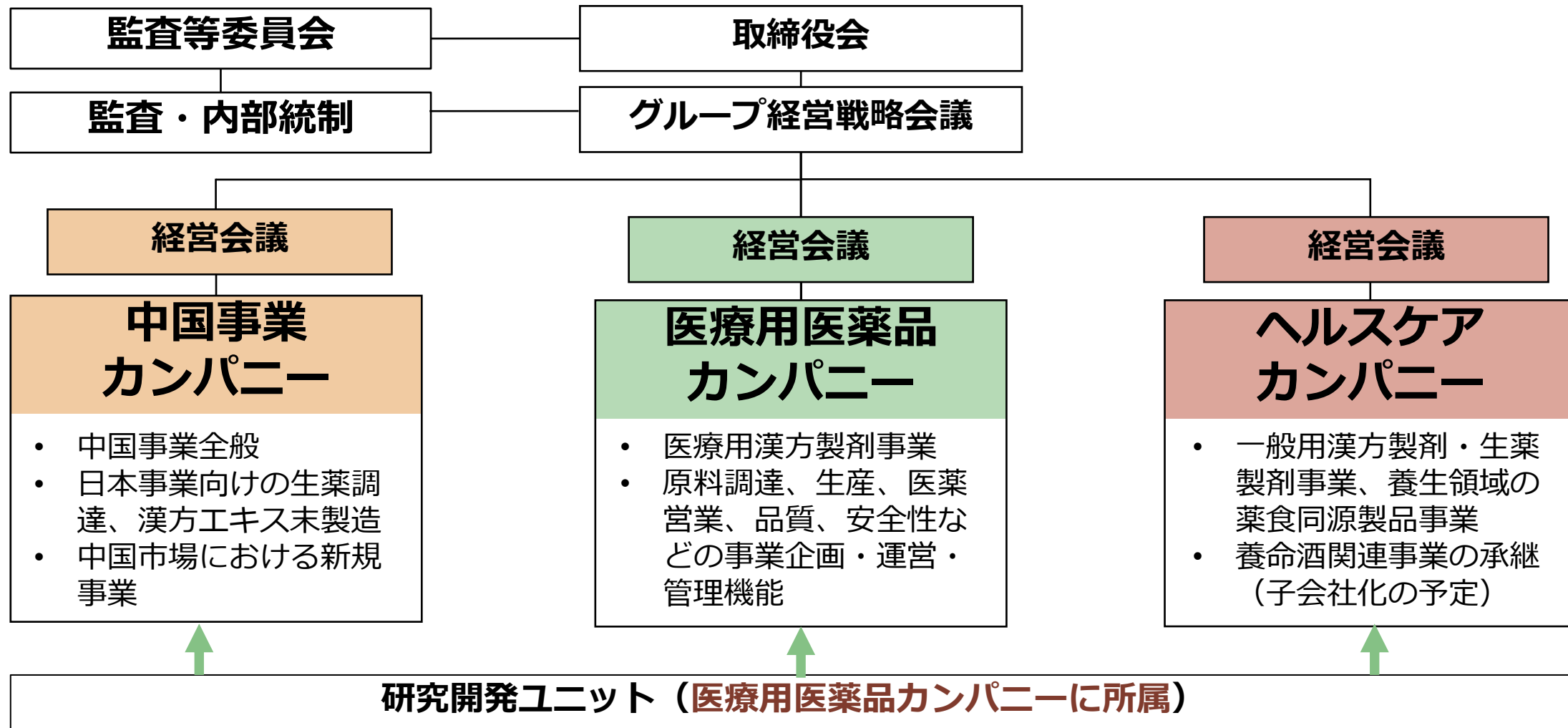
中国平安保険傘下「上海家化」とのコラボ製品

TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031実現へのロードマップ



	第1期中期経営計画 (2022-2024年度)	第2期中期経営計画 (2025-2027年度)	第3期中期経営計画 (2028-2031年度)
医療用漢方事業	重点3領域／育薬・G処方中心 達成	診療領域基本処方を処方する医師50% ☆	
漢方標準治療の拡大	10処方以上処方医師50% ☆	10処方以上処方医師70% ☆	
漢方治療の個別化			自動問診システム実装 ☆
研究開発			
漢方治療の個別化	診療データプラットフォーム構築	女性領域処方／臨床研究	処方の使い分け／社会実装
未病の科学化	イントロン・リテンション研究	うつ状態／I・R研究	診断・治療法確立／社会実装
ヘルスケア事業			
一般用漢方製剤	配荷店舗数・棚数拡大	ツムラ一般用相談漢方の確立	一人ひとりにあった買い場の実現
養生（薬食同源等）	参入準備・テスト販売	本格参入／新製品・養命酒	事業拡大・収益性向上／第3柱の事業
中国事業	修治／ネガティブリスト解除		
製剤PF（中成薬事業）	提携先の絞り込み	政治情勢／交渉・提携模索	中成薬企業との事業提携
生薬PF（生薬・飲片・大健康製品）	原料生薬販売／品質の認知拡大	自動システム化／「一人一方」販売	「一人一方」事業拡大
研究PF	方針検討／古典処方申請	古典処方承認・申請品目拡大	古典処方の販売／エビデンス構築
DX	刷新IT基盤の構築	ロボット等の先端技術開発・導入	群馬スマートファクトリー基盤整備
労働生産性	営業部門・研究部門・管理部門の生産性向上	生薬部門・生産部門の生産性向上	生産性2倍

- ・ 権限委譲による意思決定の迅速化
- ・ 独立採算性 (ROIC)による責任の明確化
- ・ 経営者人財の早期養成
- ・ 収益事業多柱化の早期実現



01

長期経営ビジョン2031の実現に向けて

02

2025年度決算

03

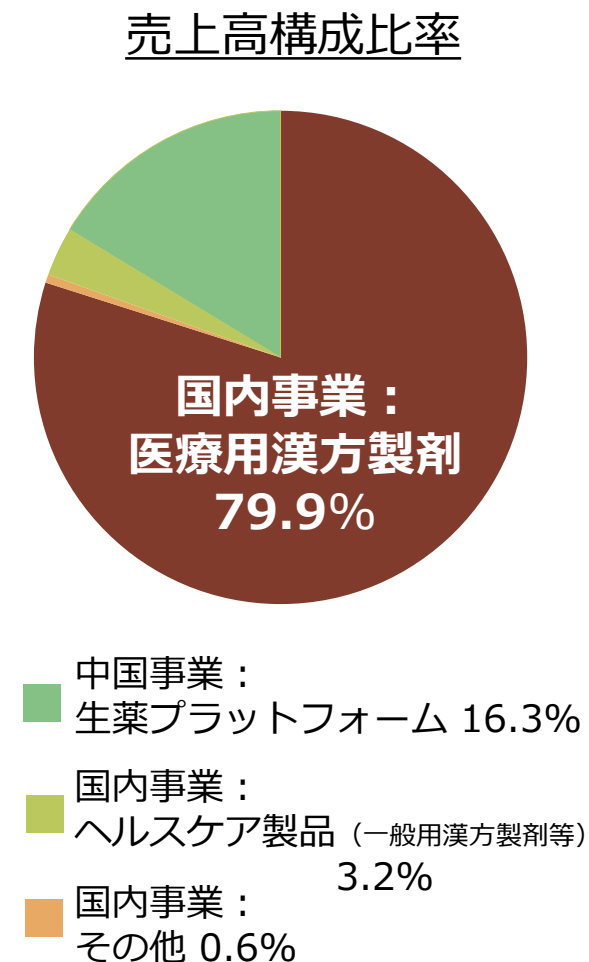
2026年度計画・業績予想

2025年度 決算概況



- ・ 売上高は国内事業が計画に対して未達、中国事業は達成。各利益は計画を達成
- ・ 中国事業の売上高構成比率が大きく上昇

【百万円】	2025年度 計画 (2025年11月10日修正)	2025年度 実績	達成率	前年比	
				金額	増減率
売上高	198,000	192,615	97.3%	+11,521	+6.4%
国内事業	167,900	161,172	96.0%	+712	+0.4%
中国事業	30,100	31,442	104.5%	+10,809	+52.4%
営業利益	35,000	35,219	100.6%	△4,905	△12.2%
国内事業	35,500	35,024	98.7%	△5,112	△12.7%
中国事業	△500	195	—	+206	—
経常利益	34,500	40,036	116.0%	△2,410	△5.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	24,300	28,117	115.7%	△4,311	△13.3%

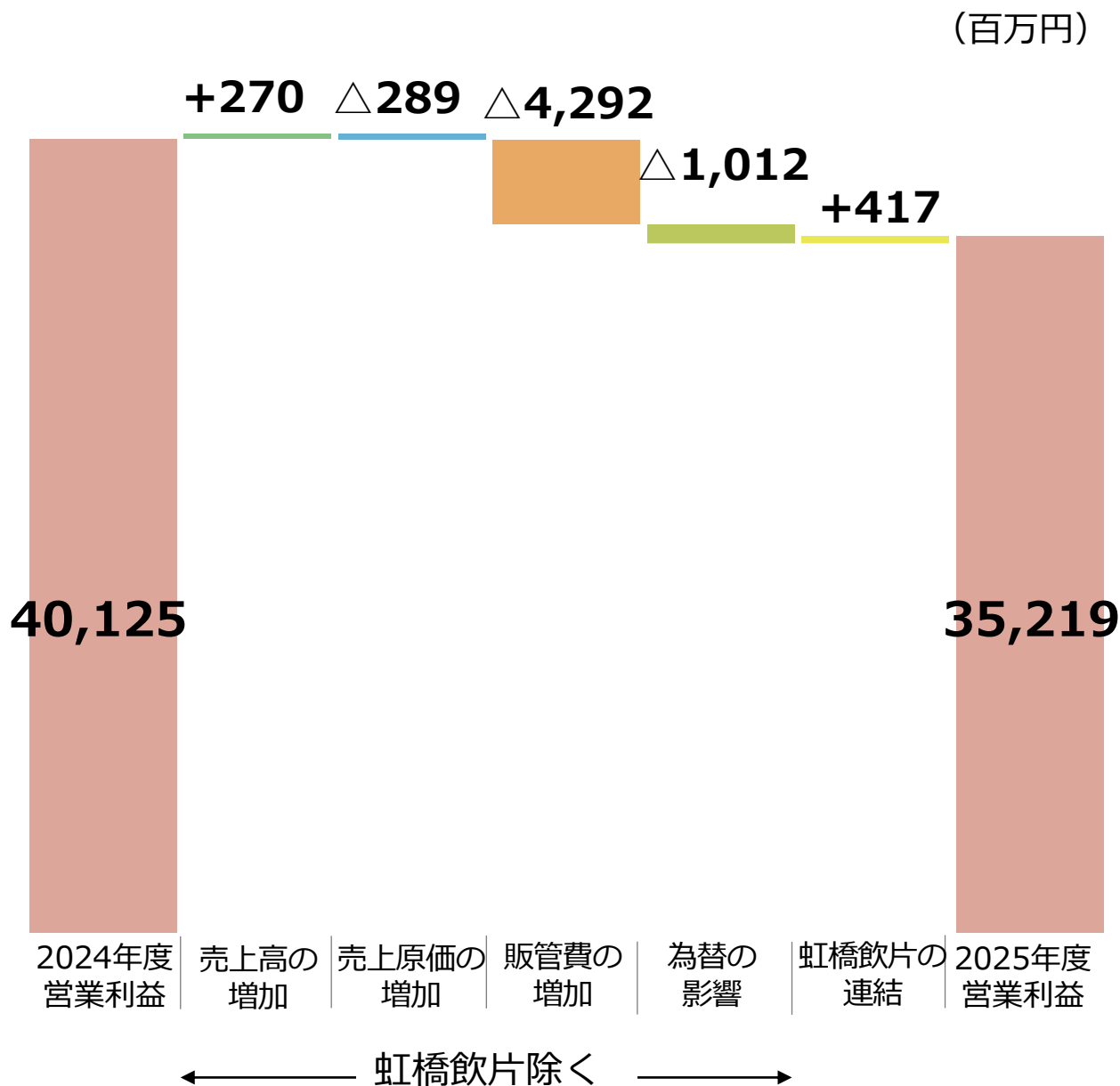


決算のポイント



売上高	192,615 百万円	計画達成率	97.3%	前年比	+6.4%
<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内事業 医療用漢方製剤（129処方） : 153,918百万円 前年比 $\Delta 0.1\%$ ヘルスケア製品（一般用漢方製剤等） : 6,206百万円 前年比 +17.4% ■ 中国事業 原料生薬、飲片、大健康製品等 : 31,442百万円 前年比 +52.4% 					
営業利益	35,219 百万円	計画達成率	100.6%	前年比	$\Delta 12.2\%$
営業利益率	18.3 %	計画比	+0.6pt	前年比	$\Delta 3.9pt$
<ul style="list-style-type: none"> ■ 原価率 : 52.5% 計画比 $\Delta 1.5pt$（対計画：加工費の低減） 前年比 +2.5pt（対前年：中国事業売上高比率増加） ■ 販管費率 : 29.2% 計画比 +0.9pt（対計画：売上高の計画未達） 前年比 +1.3pt（対前年：給料諸手当、情報提供に関する費用の増加） 					
経常利益	40,036 百万円	計画達成率	116.0%	前年比	$\Delta 5.7\%$
<ul style="list-style-type: none"> ■ 海外子会社への貸付金等に係る為替差益 : 5,752百万円 				前年は為替差益 +1,176百万円 ※為替差益は業績予想には織り込んでおりません	
親会社株主に帰属する 当期純利益	28,117 百万円	計画達成率	115.7%	前年比	$\Delta 13.3\%$
<ul style="list-style-type: none"> ■ 政策保有株式売却益 : 2,193百万円 		前年比	$\Delta 1,046$ 百万円	※第3四半期以降の政策保有株式の売却益は業績予想には織り込んでおりません	

営業利益の増減要因（前年比）



売上高の増加 +270百万円			
国内事業（販売数量、販売構成）			+58
中国事業			+212
売上原価の増加 △289百万円			
国内事業	生薬費	国内生薬費	+807
		中国エキス粉末に含まれる生薬費	△192
	原資材費	△540	
国内事業	加工費	国内加工費	△37
		中国エキス粉末の加工費	△176
中国事業	売上高構成比率の増加		△151
販管費の増加 △4,292百万円			
給料諸手当			△2,155
業務委託費（情報提供に関する基盤強化等）			△587
販売促進費（情報提供に関する費用の増加等）			△323
その他（活動費増加等）			△1,227
為替の影響			△1,012百万円
虹橋飲片の連結			+417百万円

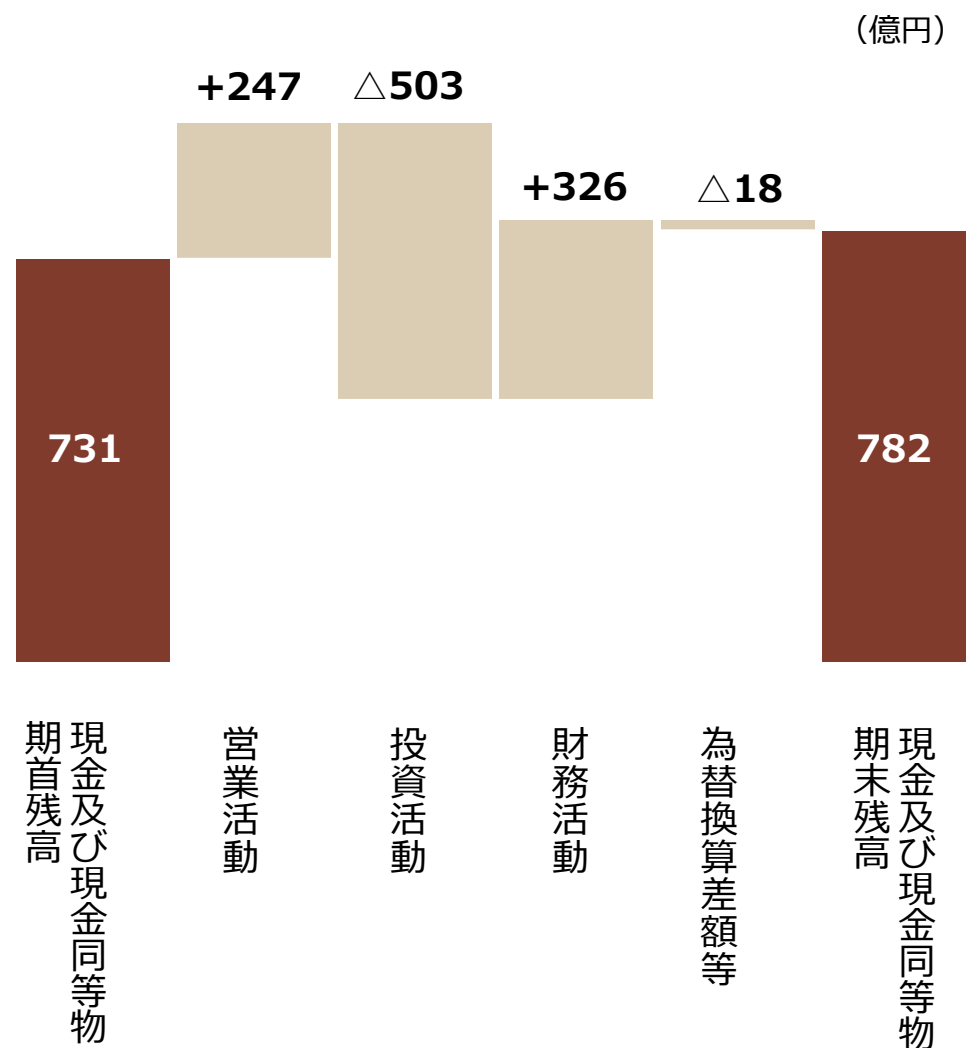
財政状態およびキャッシュ・フロー



(百万円)

	2024年度 (2025年3月末)	2025年度 (2026年3月末)	増減額	内、虹橋 連結影響
資産合計	464,380	592,766	128,385	37,728
流動資産	295,709	349,212	53,502	18,068
固定資産	168,670	243,553	74,883	19,659
負債合計	134,270	221,162	86,892	19,028
流動負債	61,913	83,257	21,344	5,585
固定負債	72,357	137,904	65,547	13,443
純資産合計	330,110	371,603	41,493	18,699
自己資本比率	64.7%	54.3%	△10.4pt	

	2024年度 (2025年3月末)	2025年度 (2026年3月末)	増減額	内、為替
棚卸資産計	133,784	164,006	30,221	2,991
商品及び製品	14,939	24,262	9,322	215
仕掛品	20,197	25,115	4,917	172
原材料及び貯蔵品	98,647	114,629	15,981	2,604



国内事業：医療用漢方製剤 処方別売上高



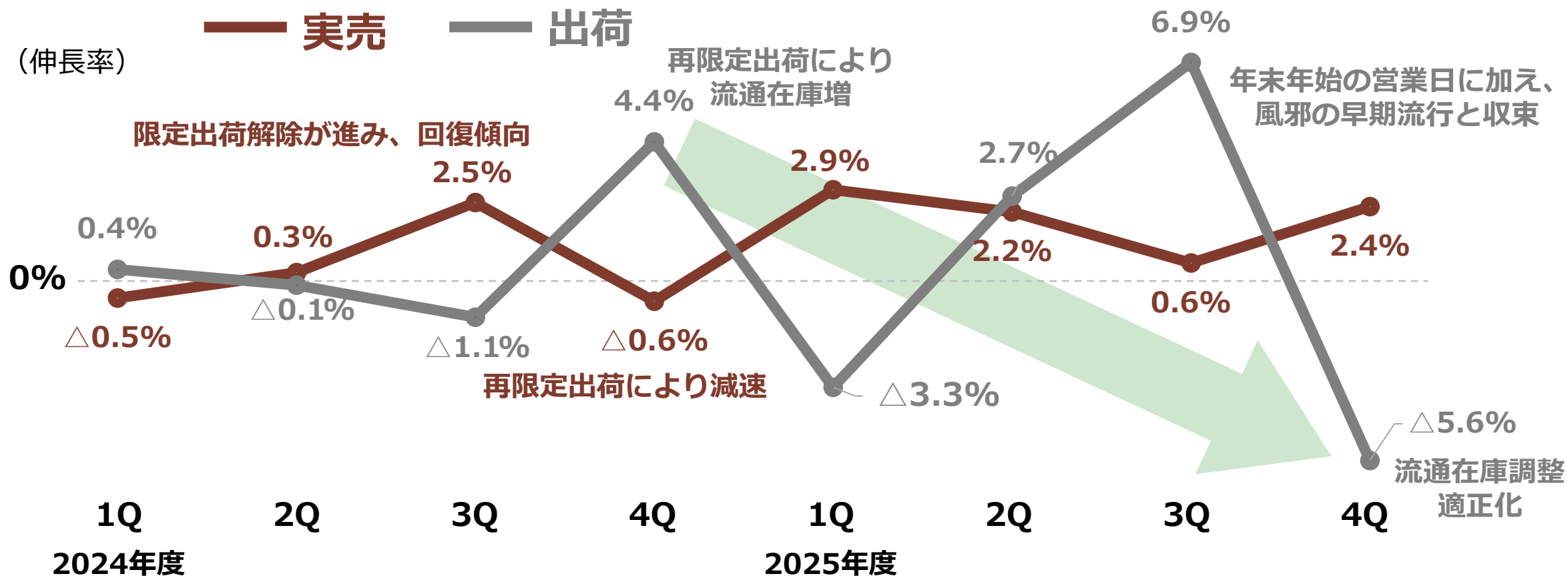
(百万円)

	売上 順位	製品No. / 処方名	2024年度	2025年度	前年比		【参考：実売数量*】 前年比
育薬 処方	1	100 大建中湯	14,769	14,688	△81	△0.5%	+1.9%
	2	54 抑肝散	11,147	11,053	△93	△0.8%	+2.6%
	5	43 六君子湯	7,199	7,205	+6	+0.1%	+0.7%
	7	107 牛車腎気丸	5,583	5,623	+40	+0.7%	+3.1%
	24	14 半夏瀉心湯	1,464	1,546	+81	+5.6%	+5.7%
育薬処方合計			40,163	40,117	△45	△0.1%	+2.1%
Growing 処方	3	17 五苓散	7,376	8,338	+962	+13.0%	+15.0%
	4	41 補中益気湯	7,597	7,451	△146	△1.9%	△1.4%
	9	24 加味逍遙散	4,917	5,043	+125	+2.6%	+2.6%
	18	137 加味帰脾湯	2,238	2,405	+166	+7.5%	+7.1%
	19	108 人參養栄湯	2,234	2,107	△126	△5.7%	△2.5%
Growing処方合計			24,364	25,346	+982	+4.0%	+6.4%
育薬・Growing処方以外の119処方合計			89,545	88,454	△1,090	△1.2%	+0.9%
医療用漢方製剤129処方合計			154,072	153,918	△154	△0.1%	+2.0%

* 実売数量とは、医薬代理店・卸から医療機関に納入された数量 17

限定出荷があったものの影響は一巡し、2025年度末時点の流通在庫は適正化

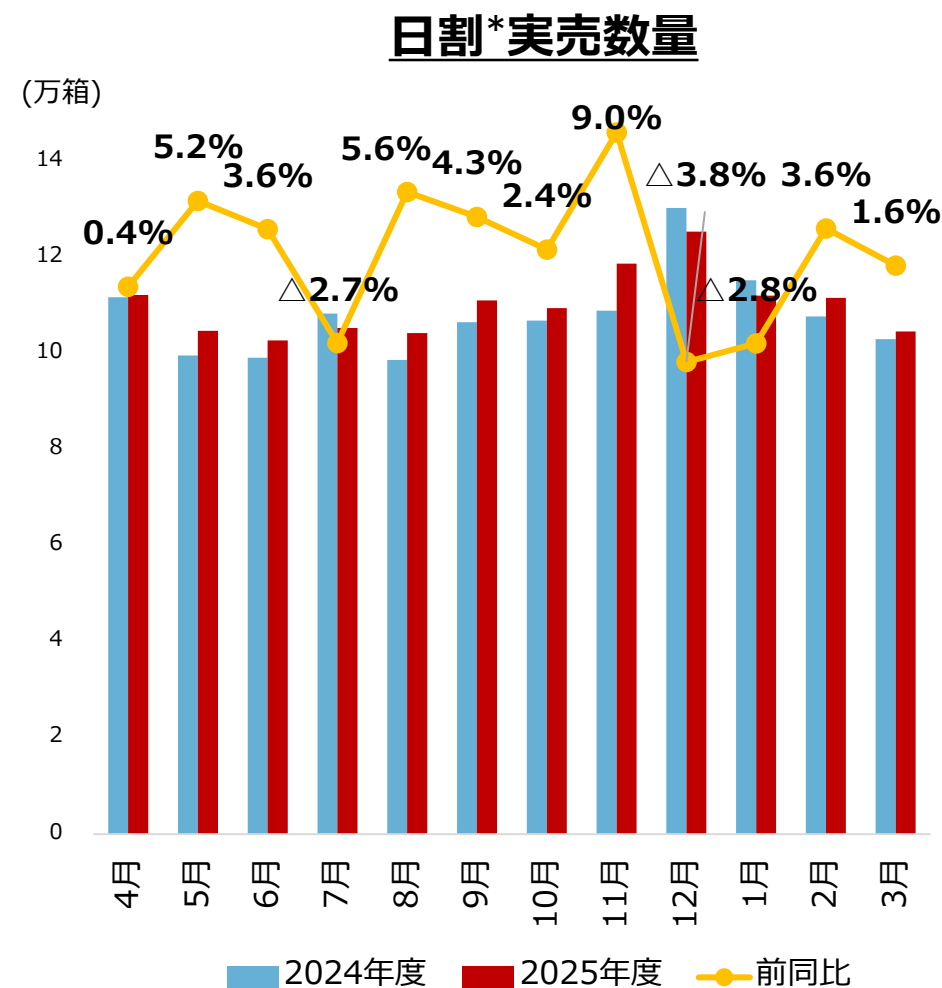
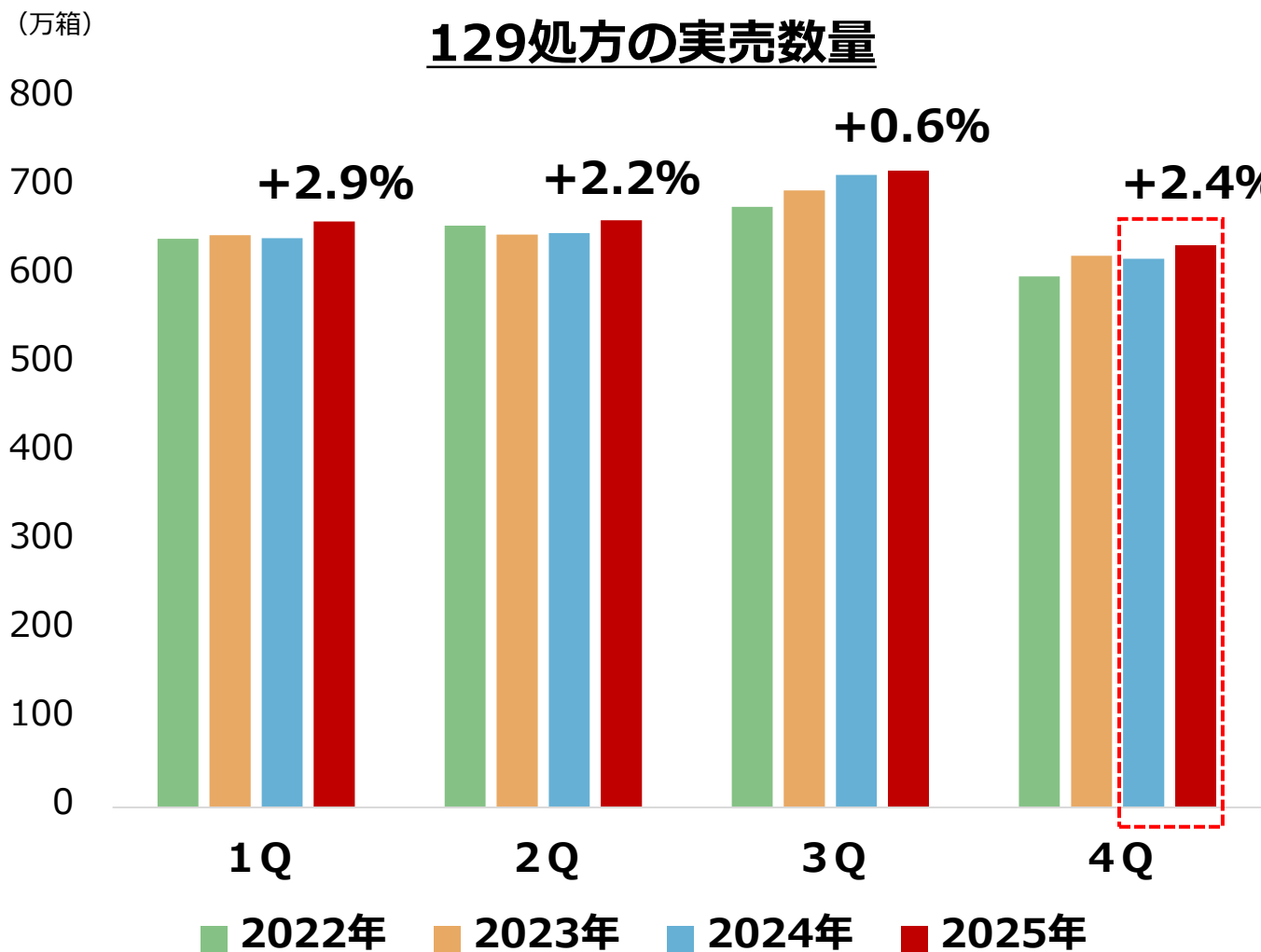
医療用漢方製剤129処方の販売数量伸長率（出荷・実売）の推移



国内事業：医療用漢方製剤129処方の実売数量推移

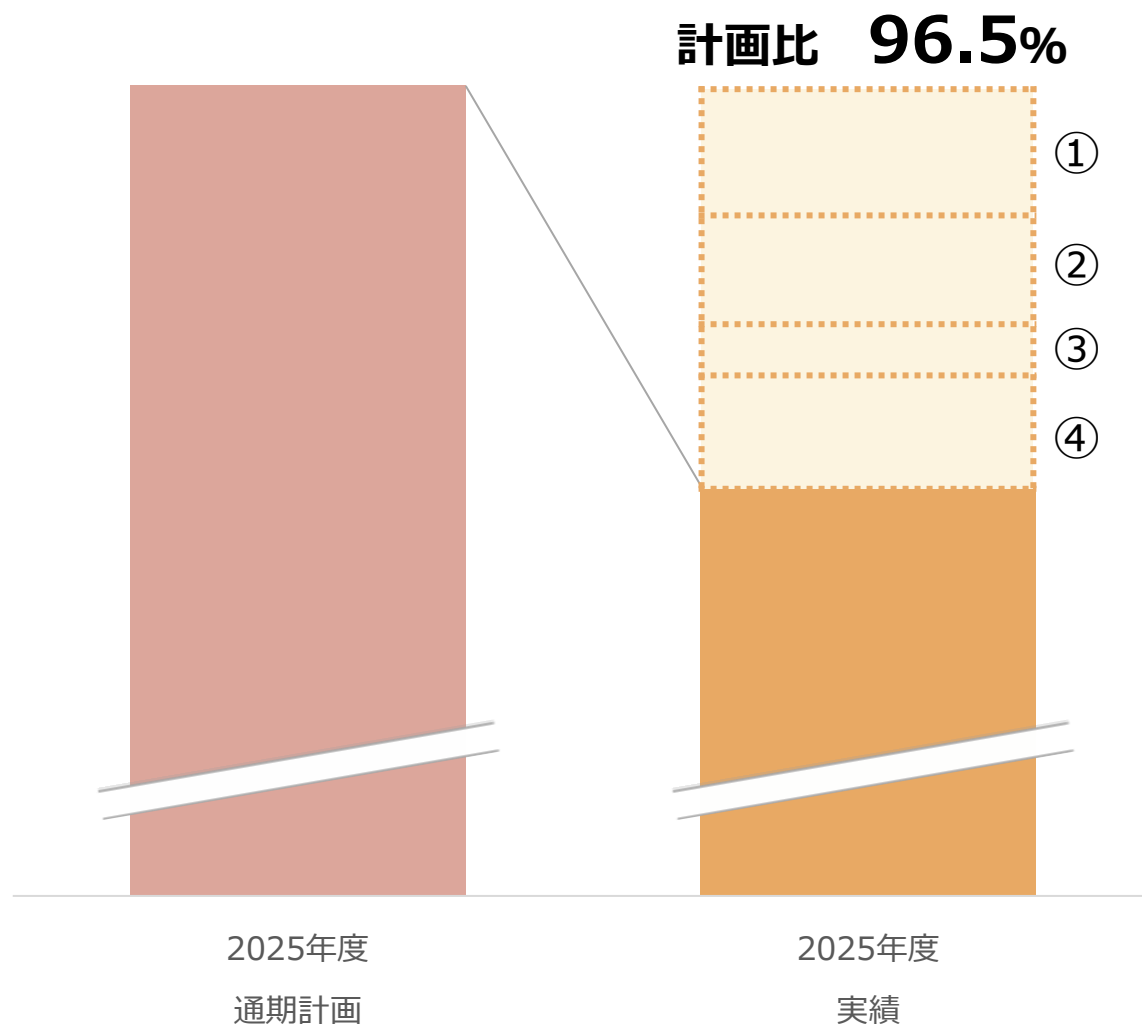


前年比でプラス伸長を継続、4Q期間の実売数量はプラス2.4%



* 月ごとの営業日数を考慮して算出

未達要因の分析



① 風邪関連処方

感染症の流行が想定を下回ったことに加え、鎮咳・去痰剤等の供給が回復した影響
主な処方：麦門冬湯、葛根湯等

② 限定出荷処方

前年度3Qに限定出荷となった処方の回復が想定より遅れている
主な処方：人参養栄湯、抑肝散加陳皮半夏等

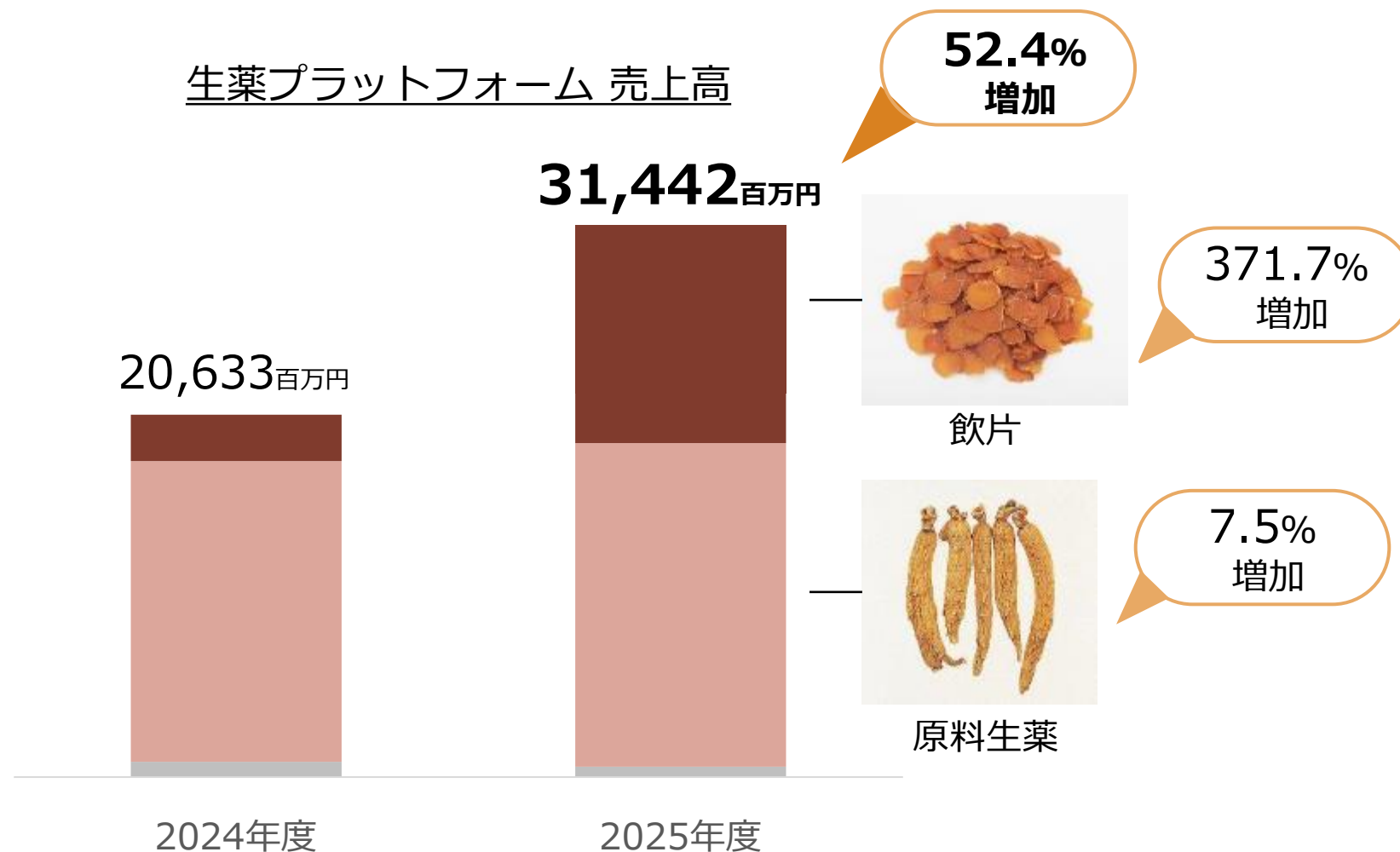
③ 婦人科関連処方

競合新薬の拡大の影響
主な処方：当帰芍薬散、桂枝茯苓丸等

④ その他（戦略処方等）

主な処方：補中益気湯、六君子湯等

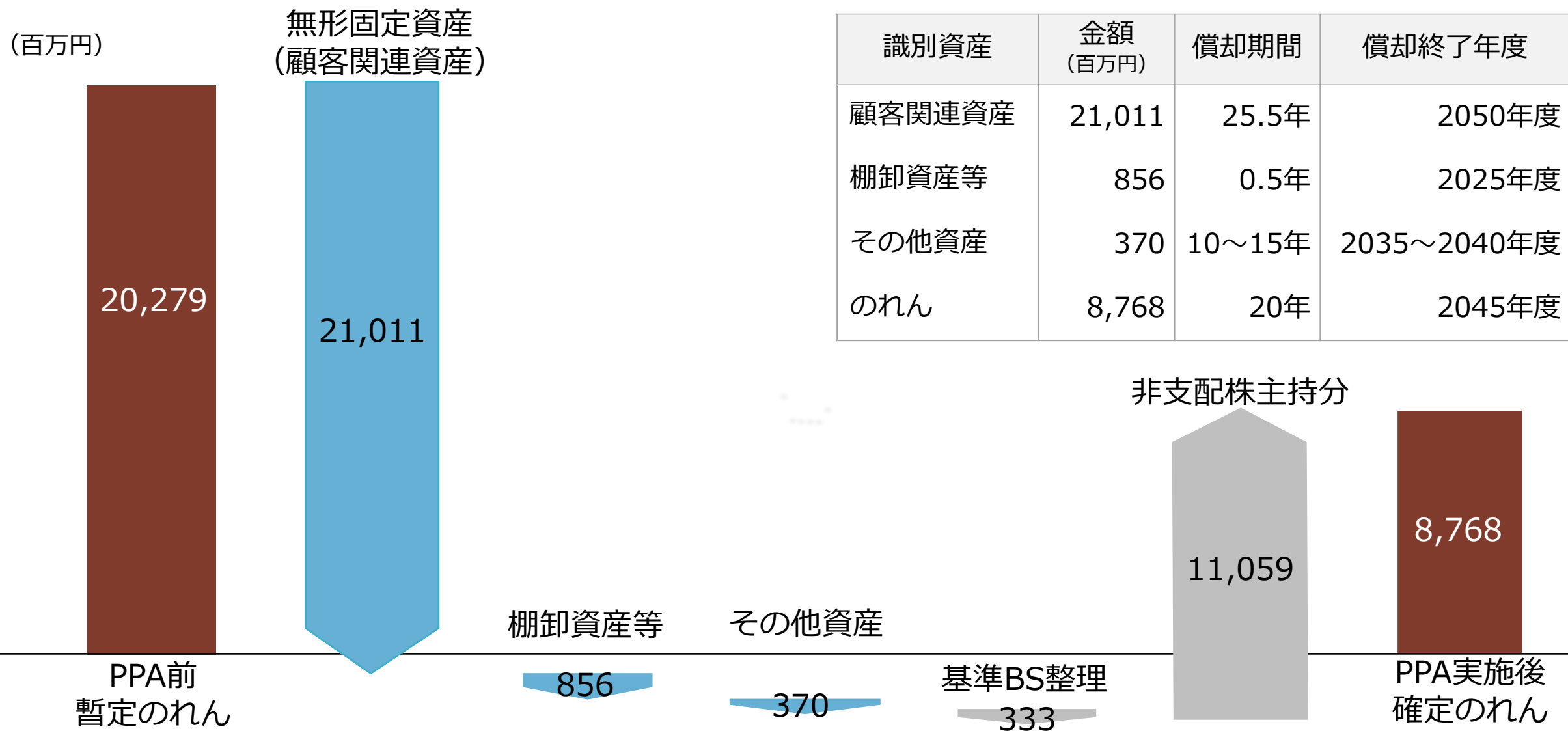
- ・ 生薬プラットフォームの売上高は原料生薬、飲片ともに増加
- ・ 飲片は虹橋飲片の連結により、売上高が大きく増加



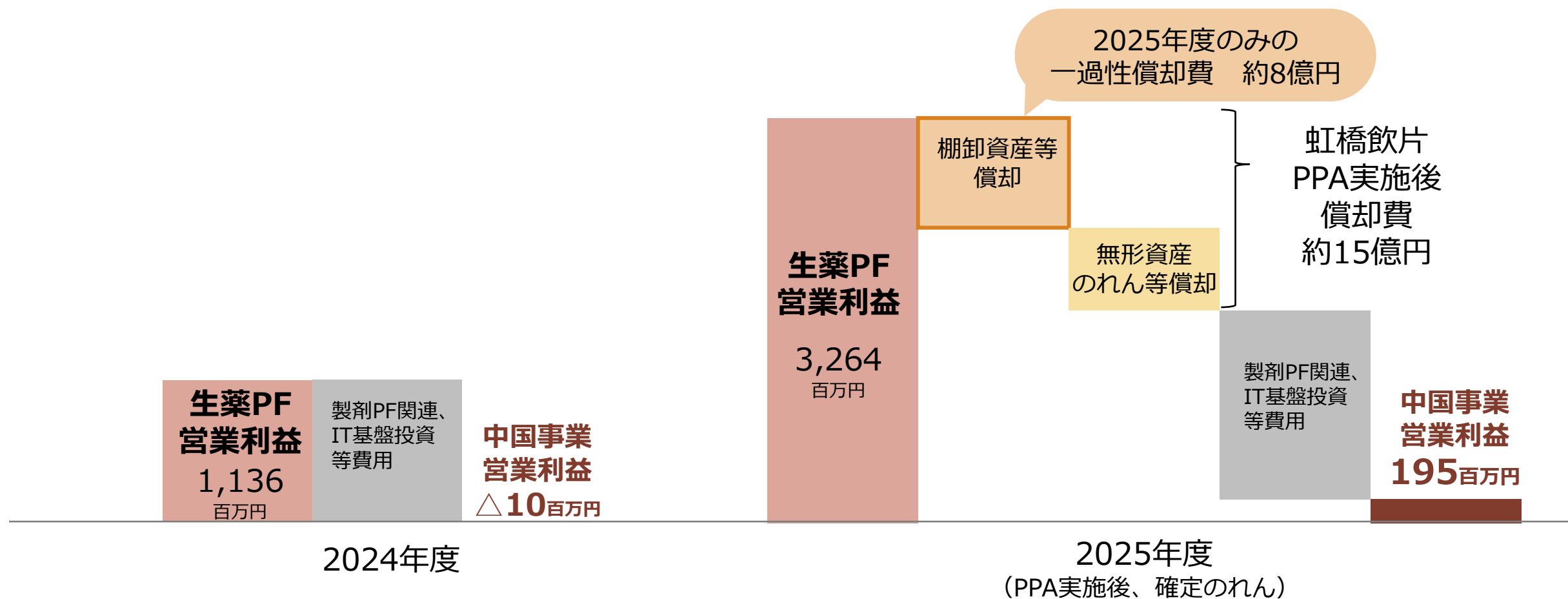
中国事業：上海虹橋飲片PPA（取得原価の配分）概要



主な識別資産は顧客関連資産210億円、確定のれんは87億円



- ・ 虹橋飲片の連結により生薬PFの営業利益が大きく増加したことで中国事業が黒字化
- ・ 虹橋飲片PPA実施後の償却費は棚卸資産等の一過性費用を含めて約15億円



01

長期経営ビジョン2031の実現に向けて

02

2025年度決算

03

2026年度計画・業績予想

カンパニープレジデントの経営責任を明確化

- 第1四半期中にカンパニー別のPL、ROICの管理体制を整備し、開示を予定
- 2027年度からはBS、キャッシュフローも含めた管理へ移行する方針

連結財務三表・ROIC



2026年度 業績予想



【単位：百万円】	2025年度 実績	2026年度 予想	前年比	
			金額	増減率
売上高	192,615	213,600	+20,984	+10.9%
国内事業	161,172	167,600	+6,427	+4.0%
中国事業	31,442	46,000	+14,557	+46.3%
営業利益	35,219	37,500	+2,280	+6.5%
国内事業	35,024	34,800	△224	△0.6%
中国事業	195	2,700	+2,504	+1,281.4%
経常利益	40,036	35,500	△4,536	△11.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	28,117	26,200	△1,917	△6.8%

ROE	9.0%	8.0%
EPS	376.28円	351.46円

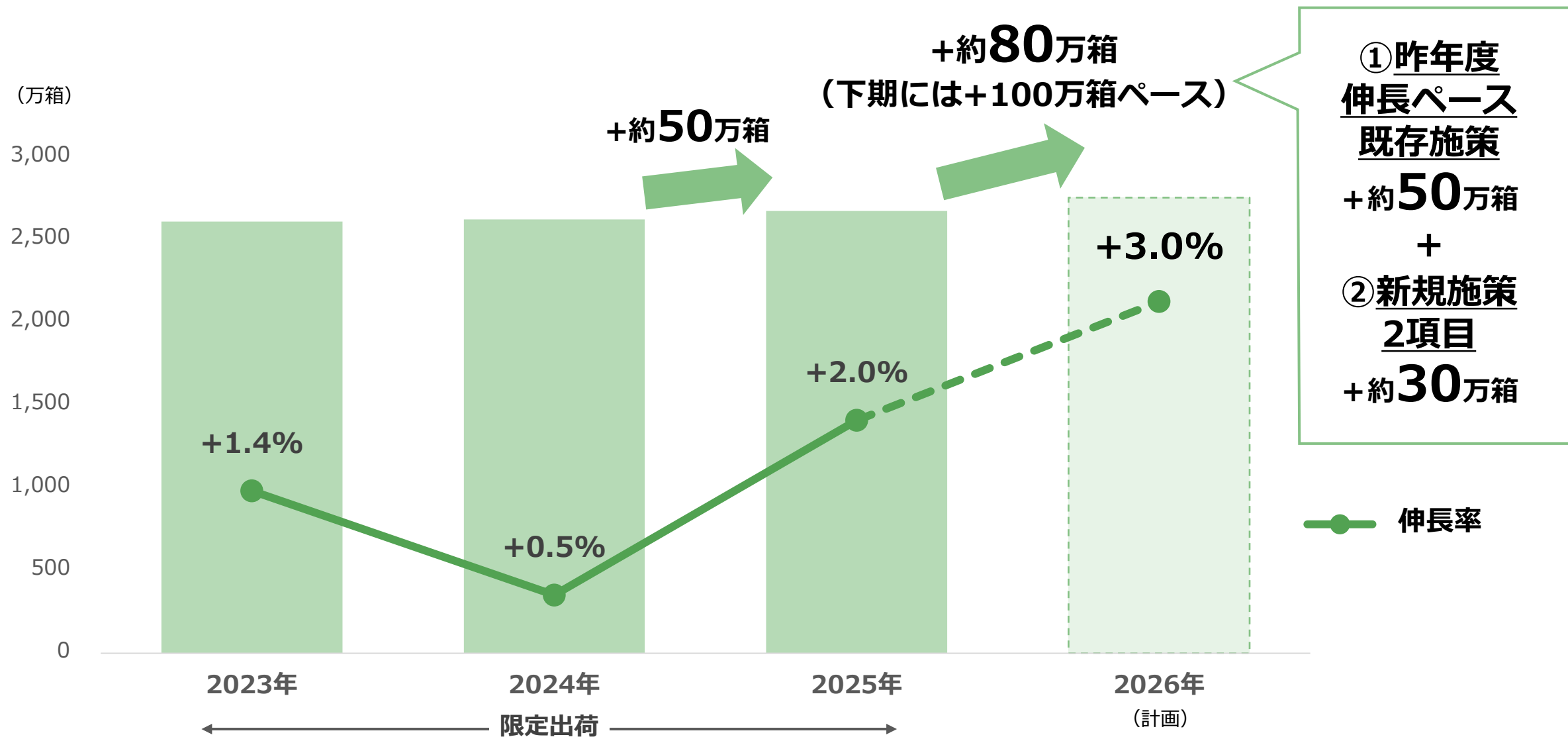
(注) 営業外損益のうち、海外子会社への貸付金等に係る為替差益については、為替相場の変動状況から合理的な算定が困難であるため業績予想には織り込んでおりません。
特別利益については、投資有価証券売却益の一部を織り込んでおります。

2026年度 営業利益予想の増減要因分析

原資材費の高騰や労務費の増加はあるものの、販売増とコスト低減により増益予想

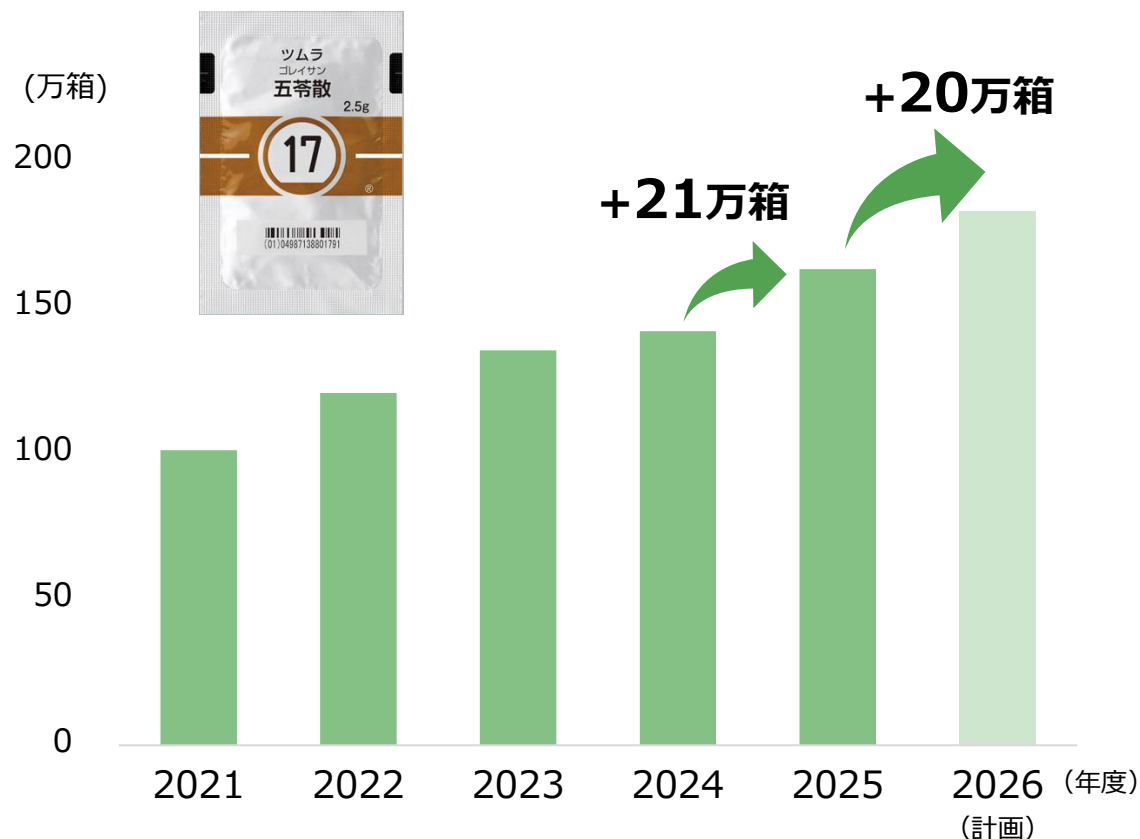


各種施策効果の段階的な効果により、下期には中計の想定伸長ペースへの回復を図る



足元の処方ニーズの取り込み継続と心腎疾患領域でのエビデンス構築を通じ、 中長期の成長機会創出を目指す

五苓散実売数量推移



気象病*による処方ニーズの獲得継続

気象病の主な症状

頭痛 めまい

五苓散適用

倦怠感 肩こり

気象病における五苓散の
服用率は**5%未満**

(MDVデータ参照、当社推計)

▶ 情報提供活動強化により、処方拡大基調を維持

エビデンス構築による心腎疾患への拡大

1. 心不全における 大規模臨床研究

京都大学を中心に実施中
2027年 結果開示予定

2. 慢性腎臓病に対する 探索的臨床試験

神戸大学を中心に実施中
2026年 結果開示予定

▶ 五苓散の有用性に対する期待・注目度の高まり

* 気圧・気温・湿度の変化などの気象要因によって引き起こされる心身の不調

重点領域を中心とした施策を実施。継続的な漢方市場の拡大を図る

がん領域

がんキャラバン2026

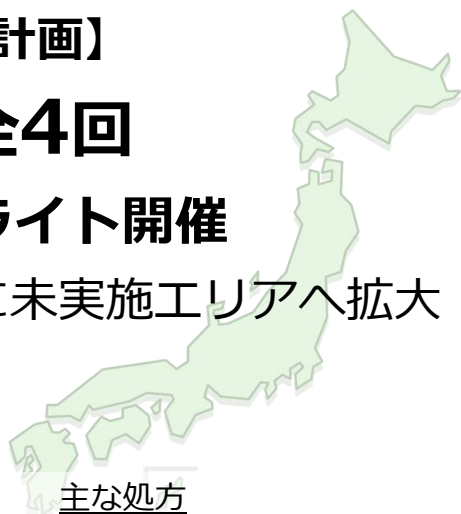
講演会を通じ医師から医師への情報提供機会を設けることで漢方浸透の加速を図る

【2026年 計画】

開催数 **全4回**

+サテライト開催

2025年に未実施工エリアへ拡大



主な処方



女性関連領域

生理の悩み相談しようプロジェクト

月経関連症状に関する啓蒙活動、受診・相談促進



賛同施設拡大中

1,700超

* 2026年3月末時点

© 2026 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L662092

女性領域大規模Web講演会

産婦人科の各専門領域に適した漢方情報を全国にお届けし、患者さまQOL向上に貢献

【2026年 計画】

漢方による女性の健康トラブル
SOSシリーズ

開催数 **全4回** (関連学会共催)

主な処方



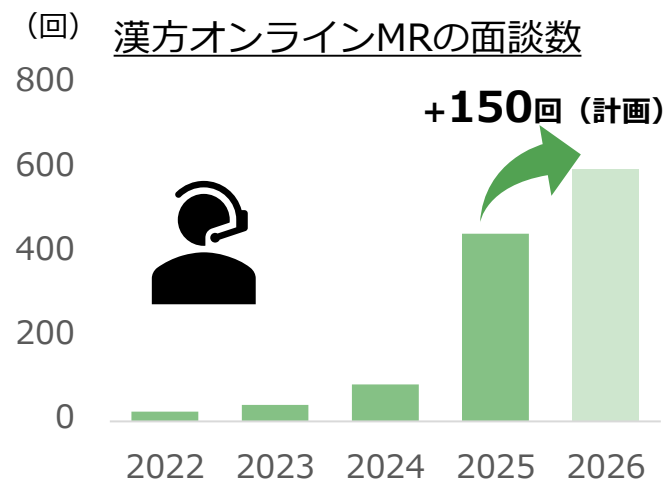
e-プロモーション強化

漢方オンラインMR

医療プラットフォーム上での双方向のコミュニケーションにより未面談医師への情報提供を実現

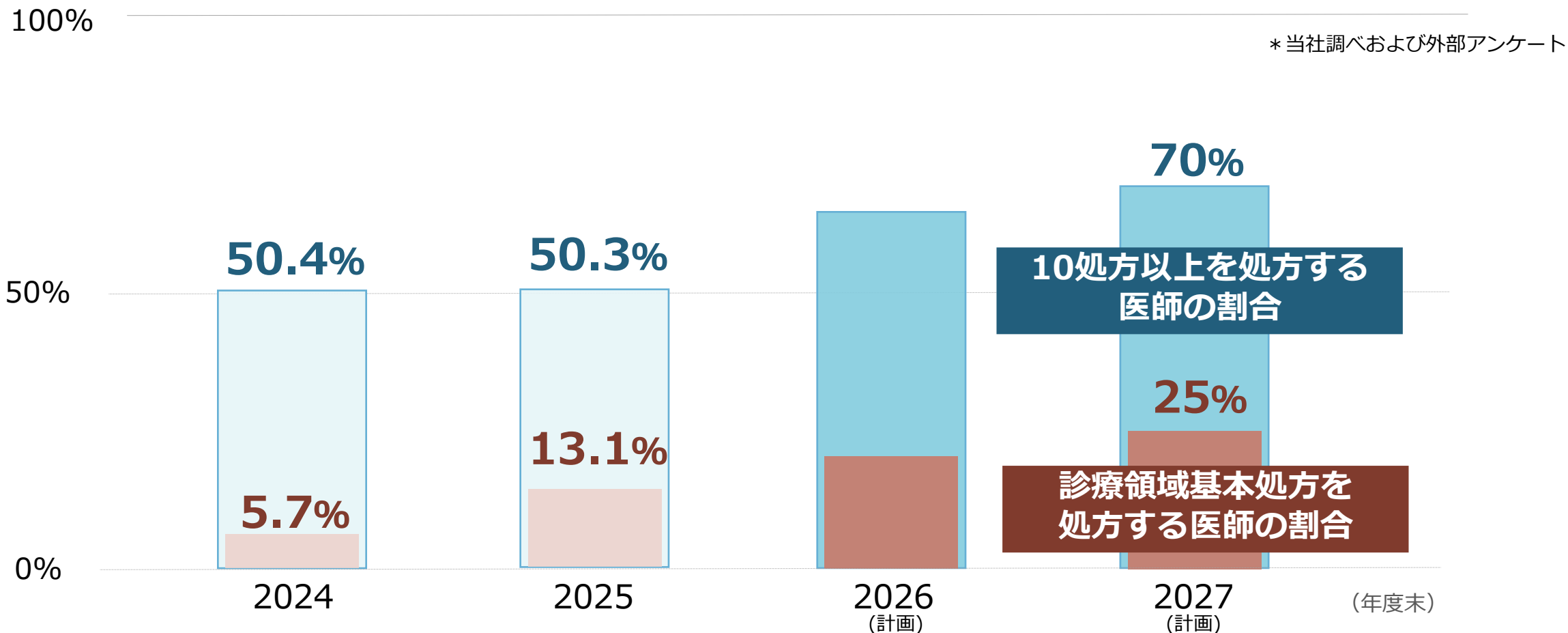
【2026年 計画】

- ・面談数：600回
- ・オンラインスタジオ（セミナー）視聴者数：6,000名



- ・ 診療領域基本処方を処方する医師の割合は着実に増加
- ・ 一人ひとりにあった漢方治療を受けられる医療現場の実現の貢献を目指す

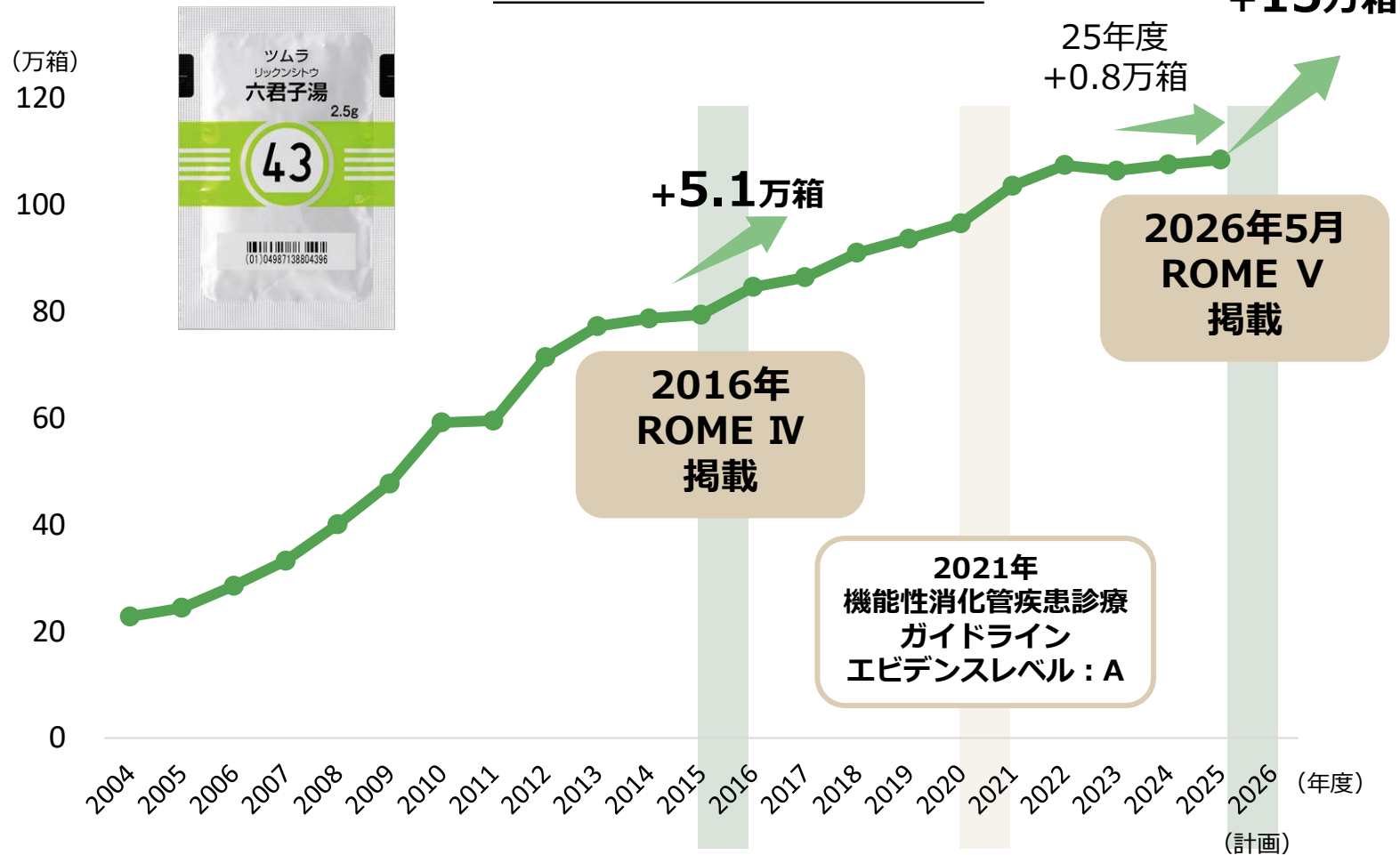
10処方以上の漢方製剤を処方する医師と診療領域基本処方を処方する医師の割合の推移



六君子湯がROME Vへ掲載継続。機能性胃腸症への有用性を訴求強化

* ROME基準：機能性消化管障害の国際的な診断基準

六君子湯 実売数量推移



欧州（ベルギー）で臨床研究を実施中

- ・ Jan Tack医師による有用性の高い評価
 - ・ エビデンスの強化
- ▶ ROME V（診断基準）への掲載継続

臨床研究概要

機能性胃腸症患者を対象とした
プラセボ対象二重盲検比較試験

機能性胃腸症

症状や原因が患者様ごとに異なり
アンメットメディカルニーズの高い疾患
日本人有病率11~17%（健康診断対象）

睡眠障害（不眠症）の患者様の治療選択肢として漢方の普及拡大を目指す



患者数は増加傾向
不眠症の推計患者数
約2,500万人*
(潜在患者含む)

睡眠障害による
日本の経済損失
約15兆円*



漢方により期待される効果

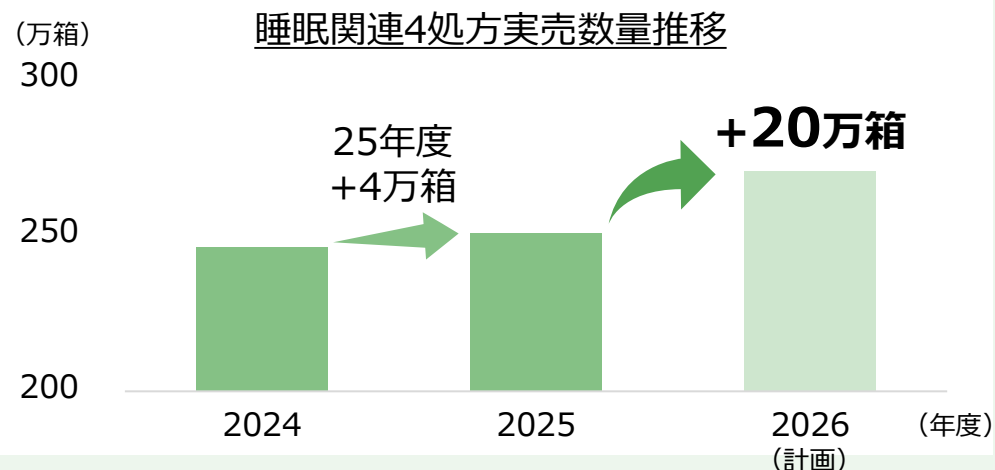
- ・興奮や不安、倦怠感などの随伴症状の改善
- ・運転禁止の制限がない
- ▶ 睡眠障害の改善に加え、QOLの向上を見込む

睡眠衛生指導との併用による抑肝散の有用性に関する医師主導の臨床研究が完了

治療における課題

- ・多様な背景要因/他疾患との併発
- ・薬剤治療への依存性・長期服用
- ・服薬による翌日への眠気の持ち越し
- ・受診すべき診療科が分かり難い

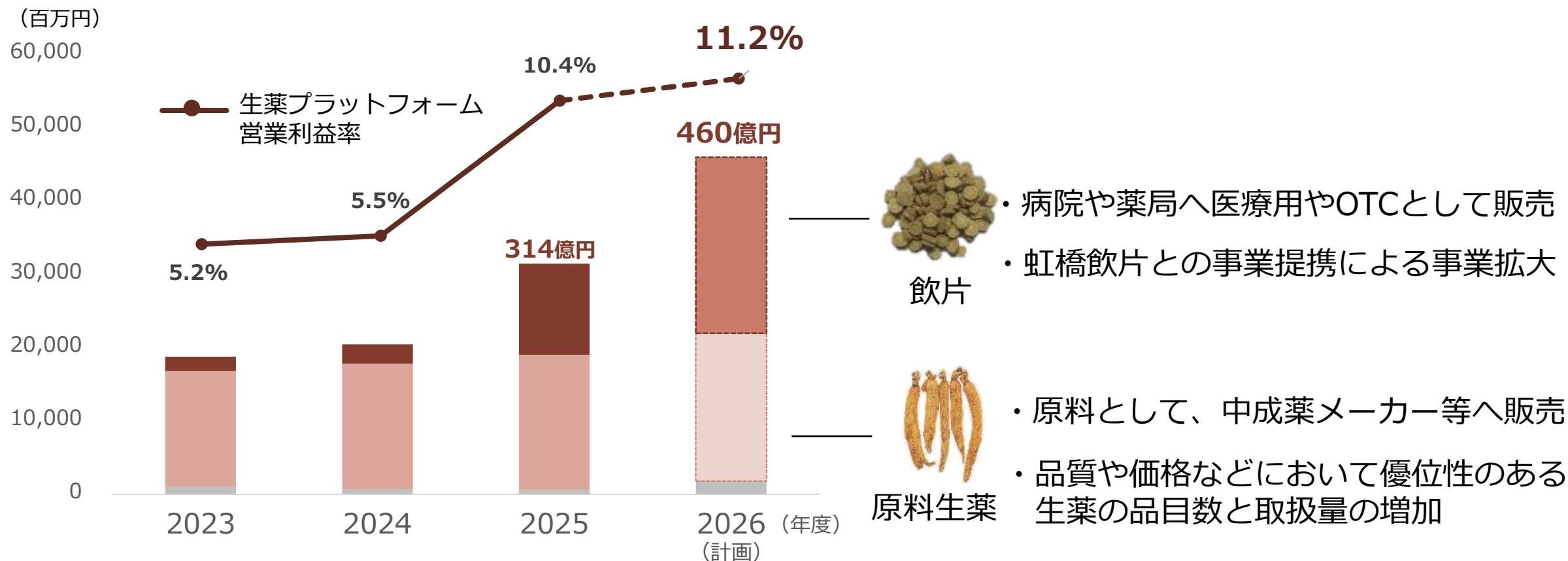
「睡眠障害」の標榜に関する制度整備が予定されている
「睡眠障害内科」「睡眠障害精神科」等



* 厚生労働省 国民健康・栄養調査、米シンクタンク「ランド研究所」公表資料より

中国事業の売上高に対する飲片比率50%以上と利益率の向上を目指す

生薬プラットフォーム売上高と営業利益率



飲片を中心とした販売拡大

「一人一方」を完全自動化した設備を2026年度中に導入・稼働予定

完全自動化された工程

2026年度
設備導入・稼働予定

受注管理



調合



煎出



煎じ液（製品）



流エキス



エキス顆粒



業界初となる最終工程までを一気通貫で自動化する体制の実現を目指す

2026年度
業績予想

売上高

2,136億円

営業利益

375億円

ROE

8.0%

中計目標
(不変)

2,340億円

460億円

9.0%

医療用医薬品

研究・施策効果による実売伸長率向上・安定

中国事業

「一人一方」稼働による飲片売上・利益率向上

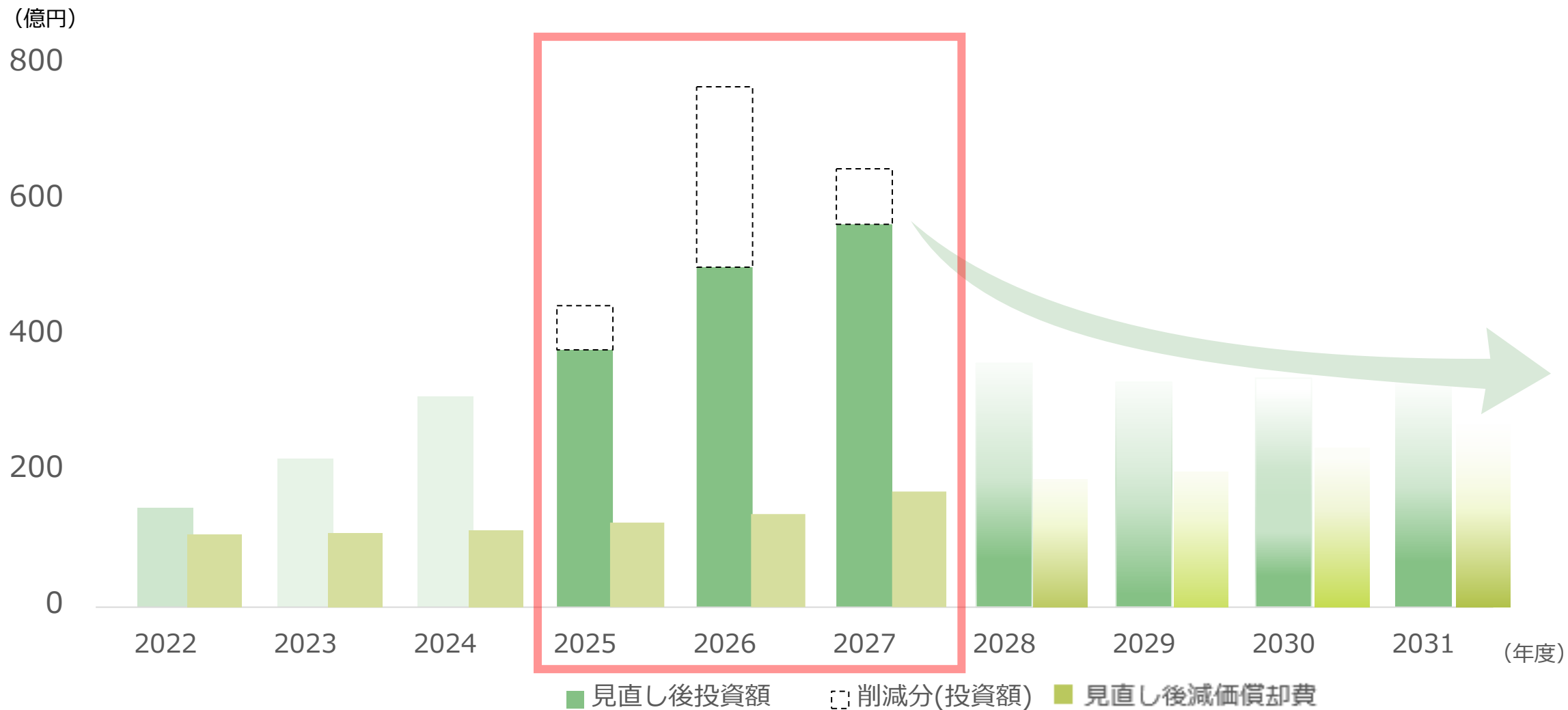
ヘルスケア

養生製品プロモーション+養命酒製造連結効果

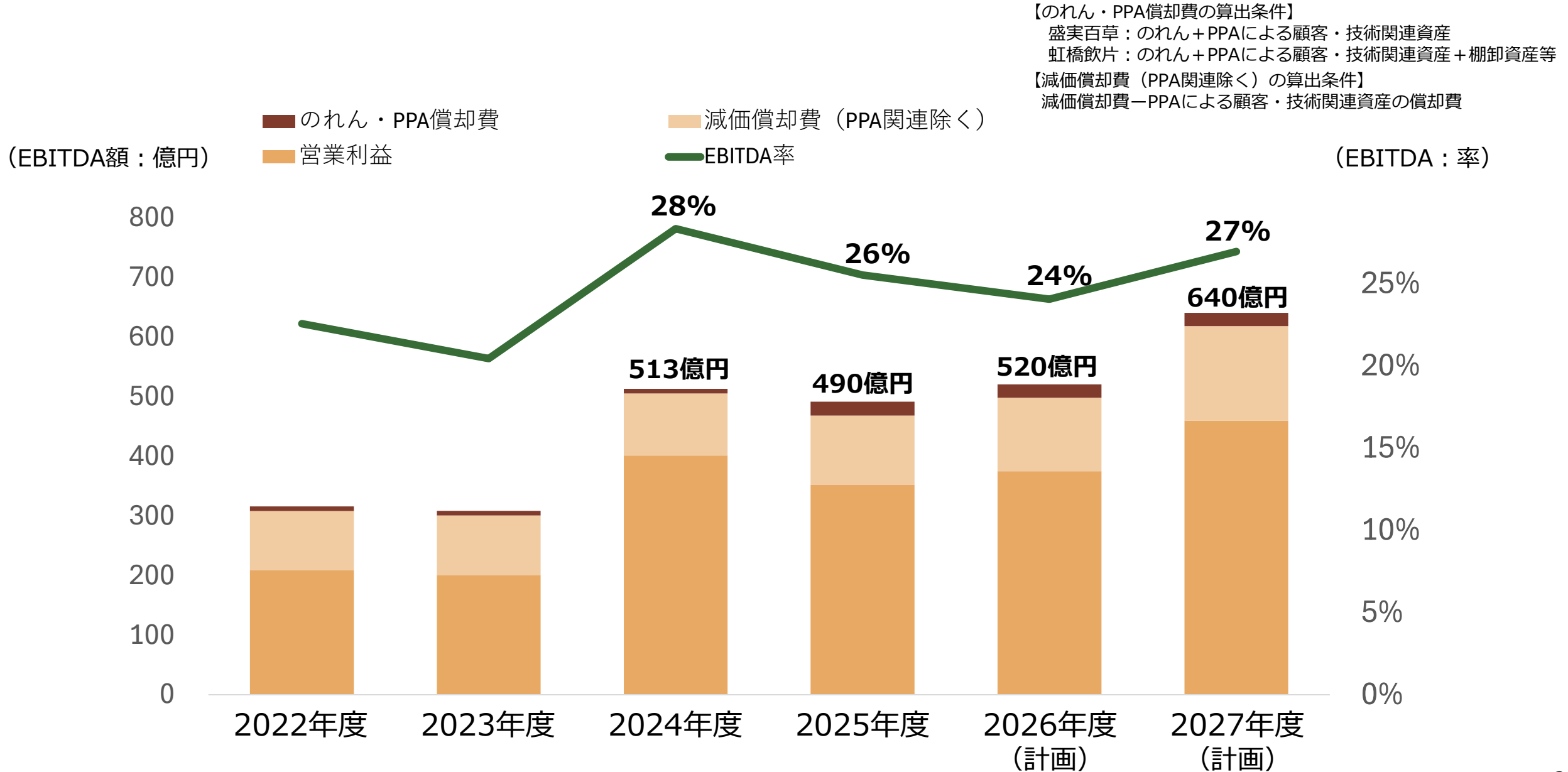


カンパニー
ROIC向上

- 茨城/静岡工場の一部生産設備について、稼働延命における技術的な検証が完了
- 新規設備投資を平準化することで、第2期中計期間の投資金額を約400億円減額



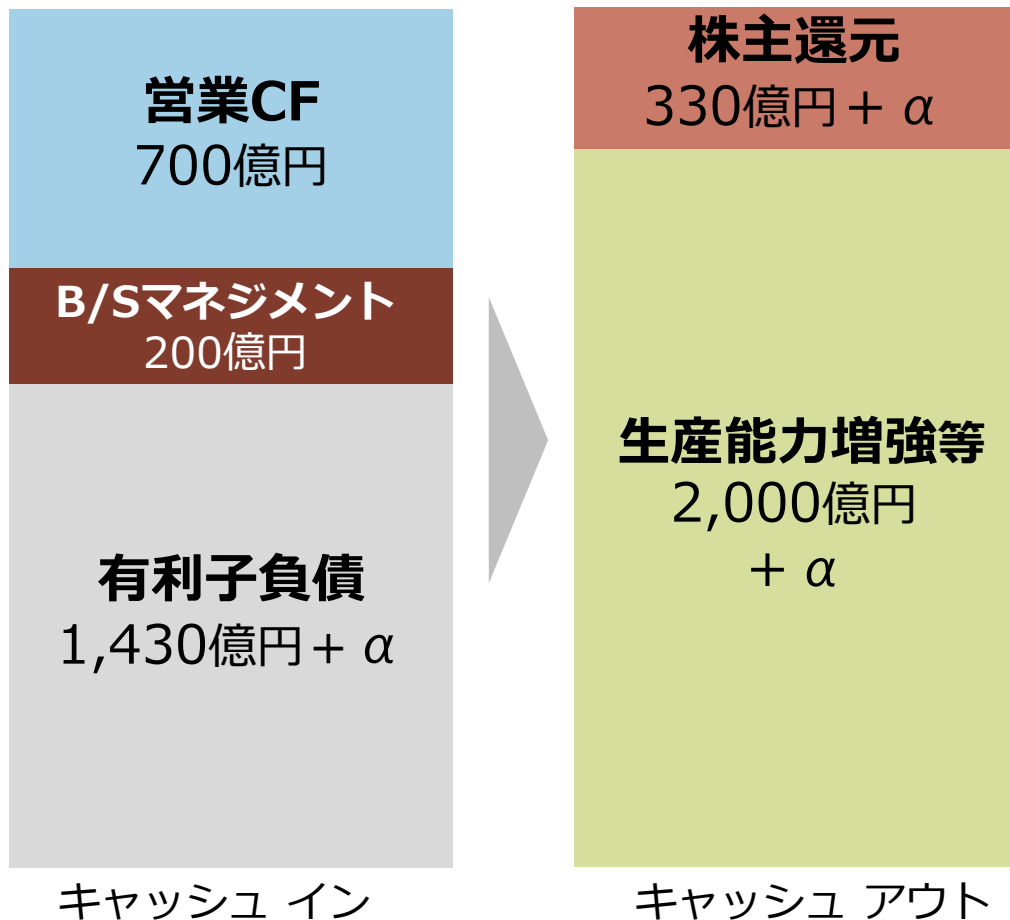
EBITDAの推移



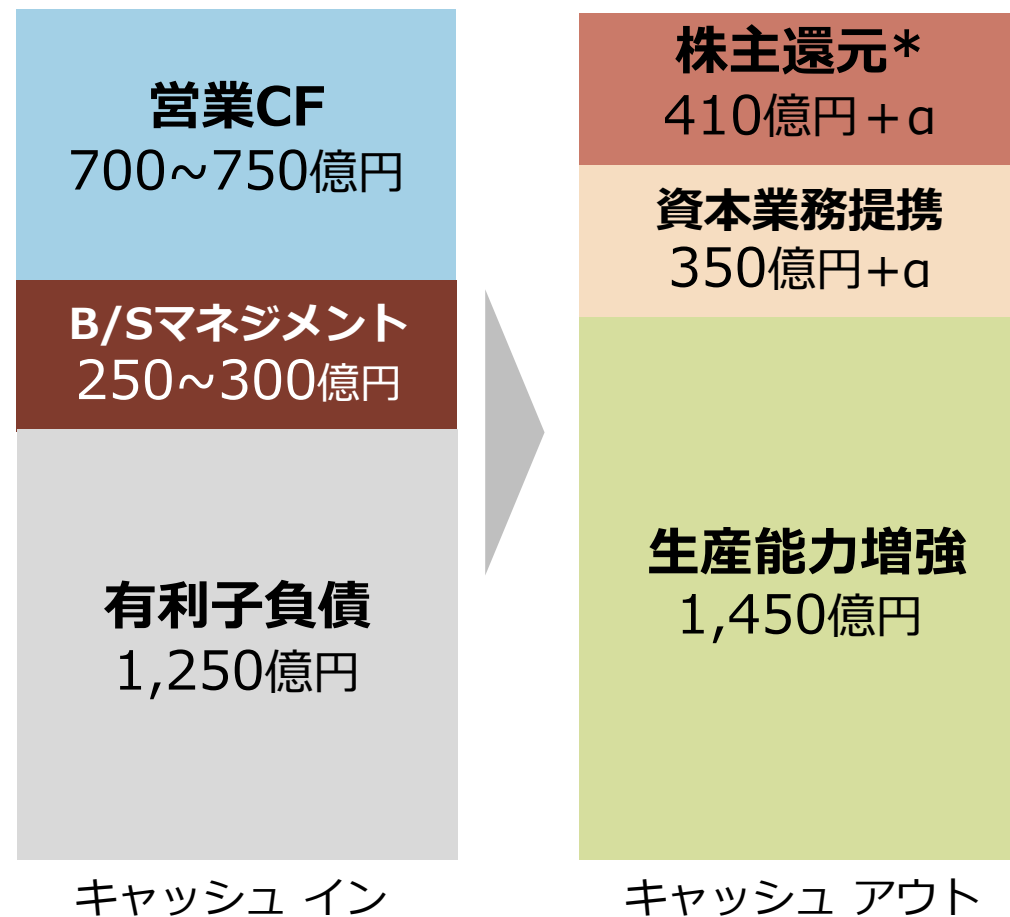
設備投資額を圧縮し、資本業務提携等の成長投資に配分

キャッシュフロー・BSマネジメントにより有利子負債を圧縮

2025-2027年度 (中計策定時点)



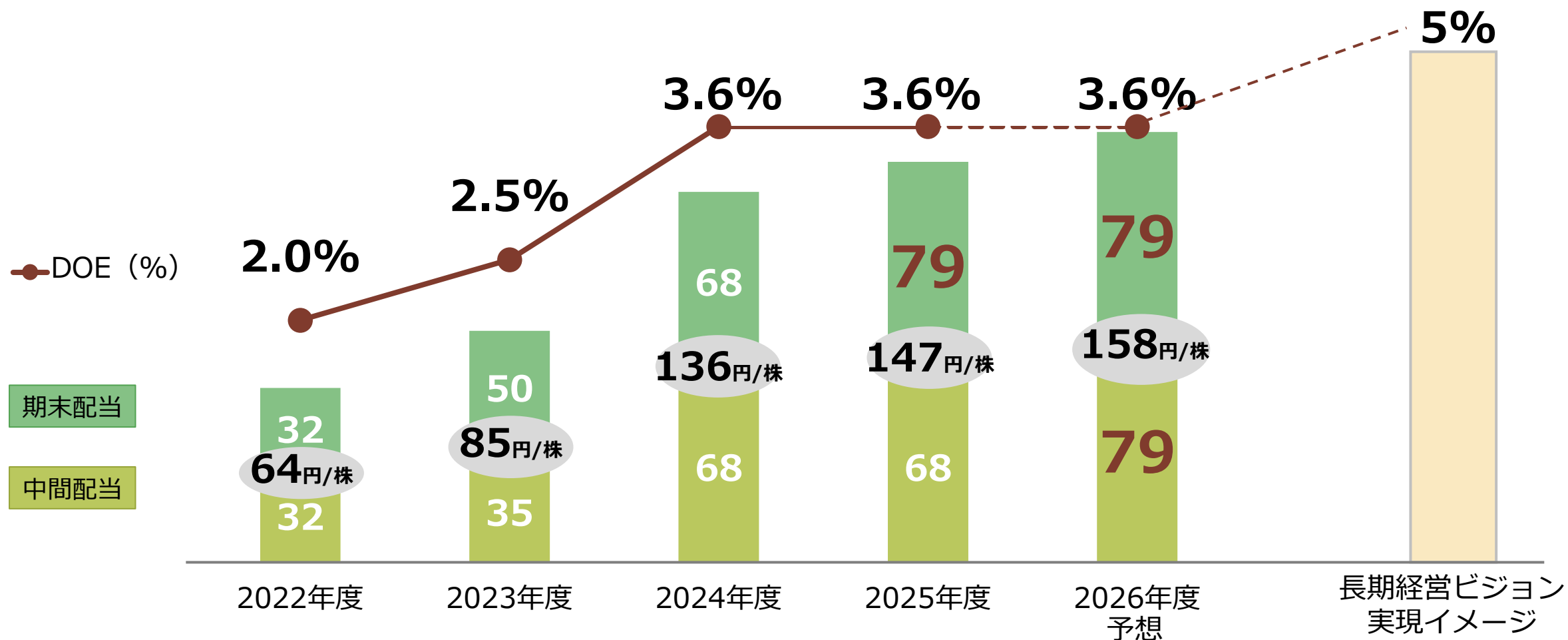
2025-2027年度 (見直し後)



*2025年に実施した自己株取得60億円を含む (中計策定時には含めていない)

「財務健全性を確保した最適資本構成に基づく最適な配当」を追求

- ・ 2025年度は期初予想に対して+11円/株の147円/株（修正予想に対して+3円/株）
- ・ DOEの維持・向上を基本とした株主還元方針に基づき、2026年度は11円/株の増配を予想



コーポレート・コミュニケーション部

I R 推進課

investor_madoguchi@mail.tsumura.co.jp

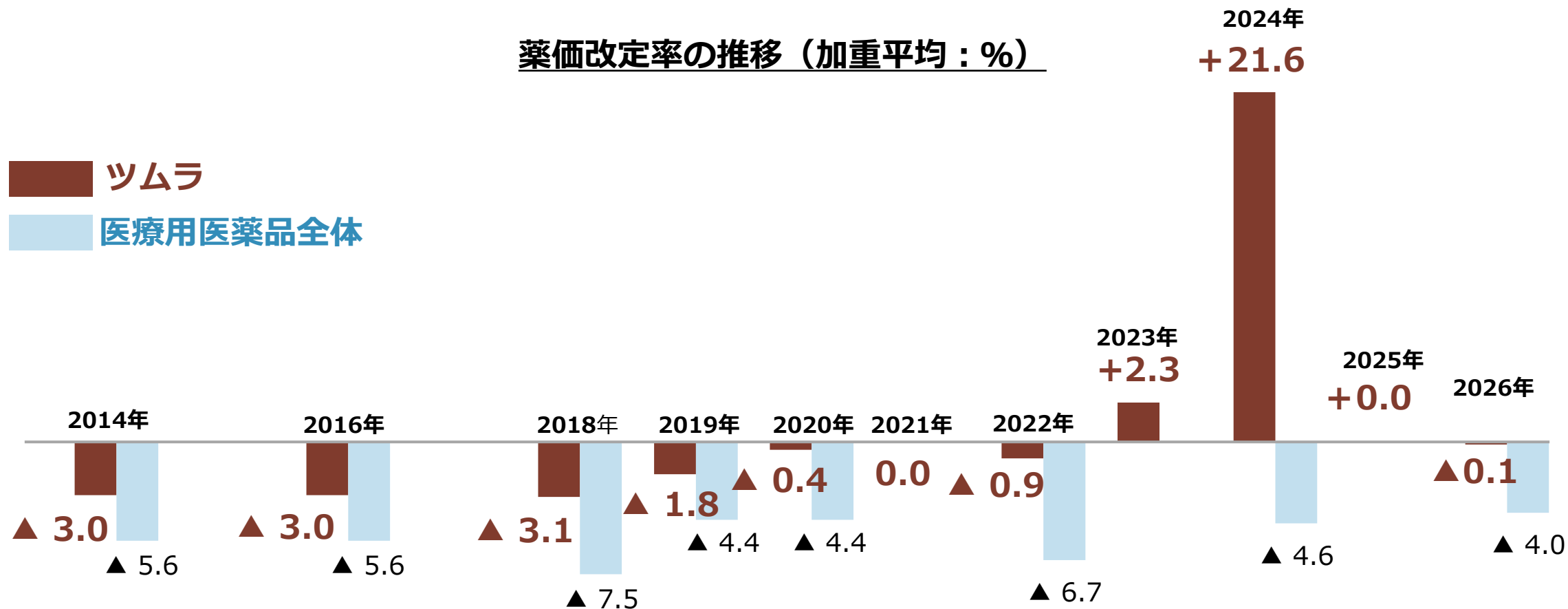
本資料に関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含んでおります。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により販売中止、または売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。
- 本資料には、医薬品（開発品目を含む）に関する情報が含まれておりますが、それらは宣伝広告、医学的なアドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料において提供される資料ならびに情報は、予告なしに、変更・追加・削除されることがあります。

Appendix

2026年4月の薬価改定における加重平均改定率は△0.1%

薬価改定率の推移（加重平均：%）

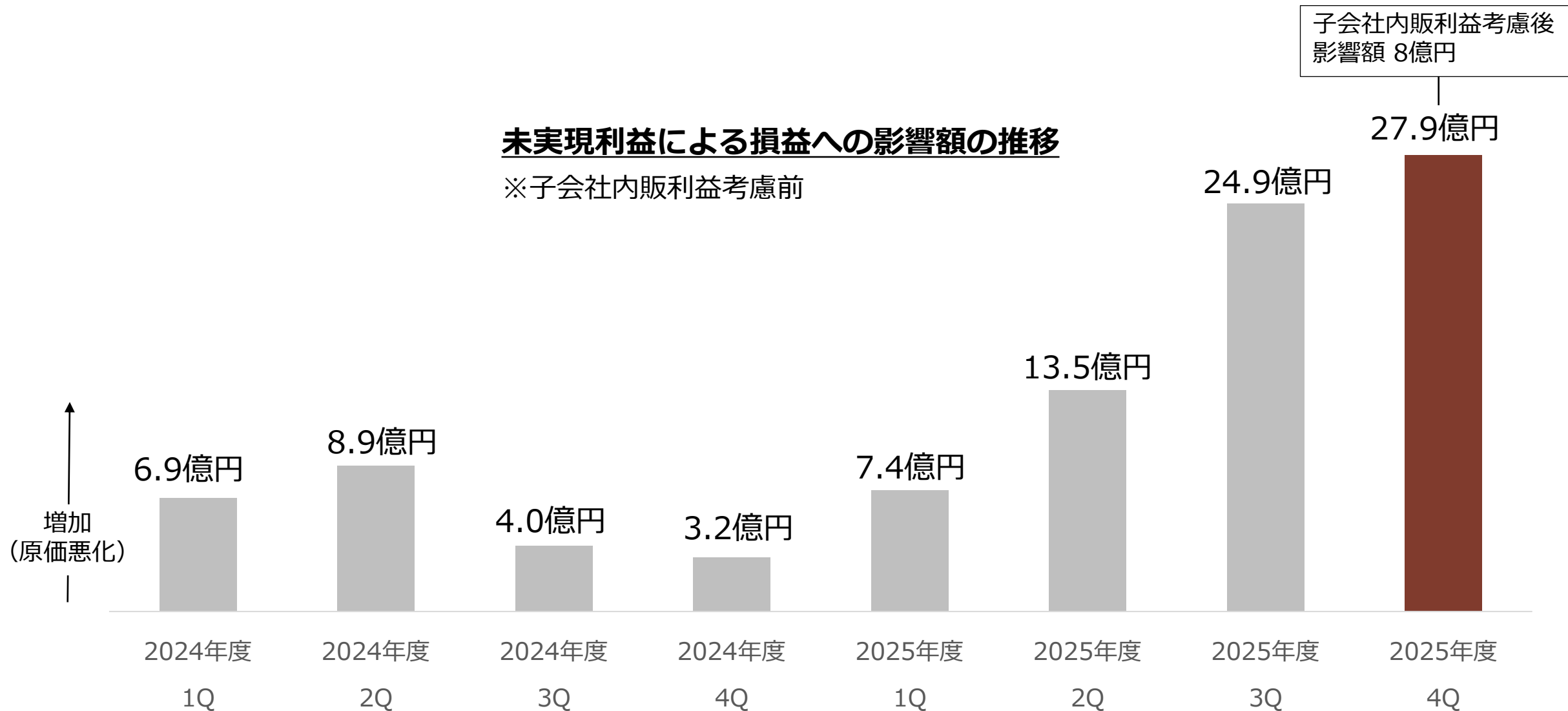


※ 2021年、2023年、2025年は中間年改定のため、医療用医薬品全体の改定率は非開示

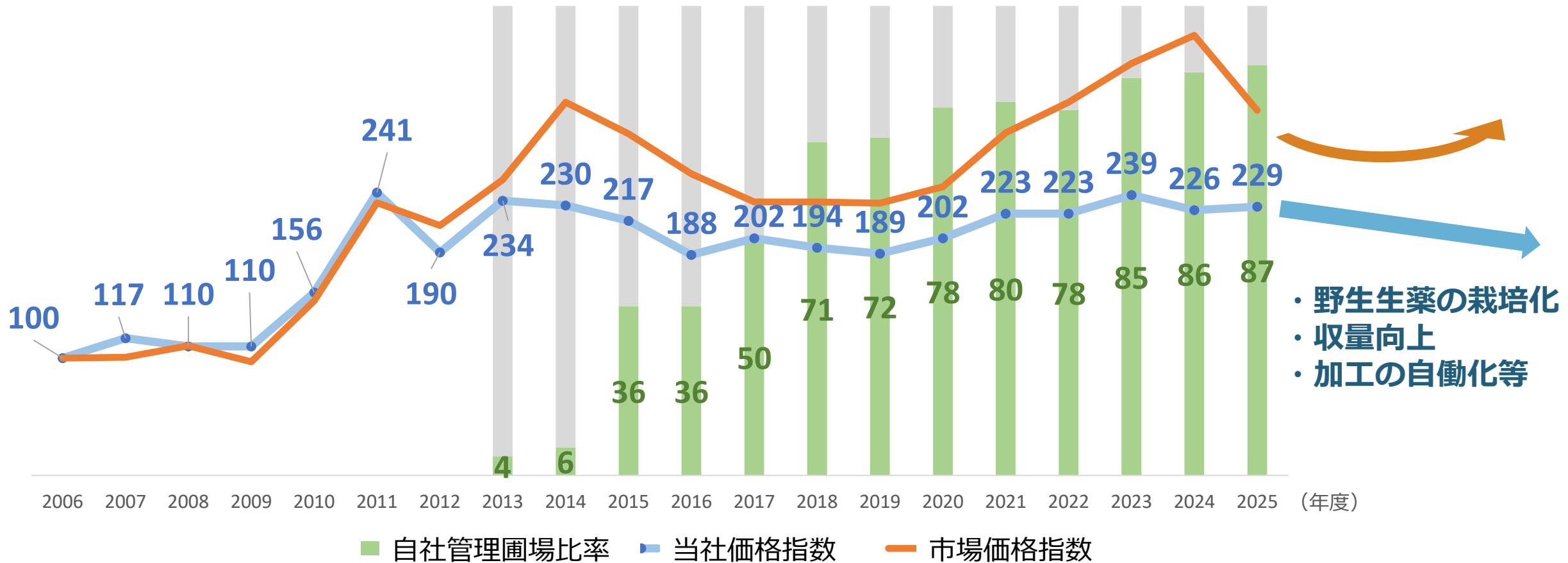
原料生薬在庫の戦略的な積み増しにより未実現利益が一時的に増加

未実現利益による損益への影響額の推移

※子会社内販利益考慮前



自社管理圃場の拡大により当社の生薬調達価格指数は安定して推移



- ・野生生薬の栽培化
- ・収量向上
- ・加工の自動化等

(外部・当社データより当社作成)

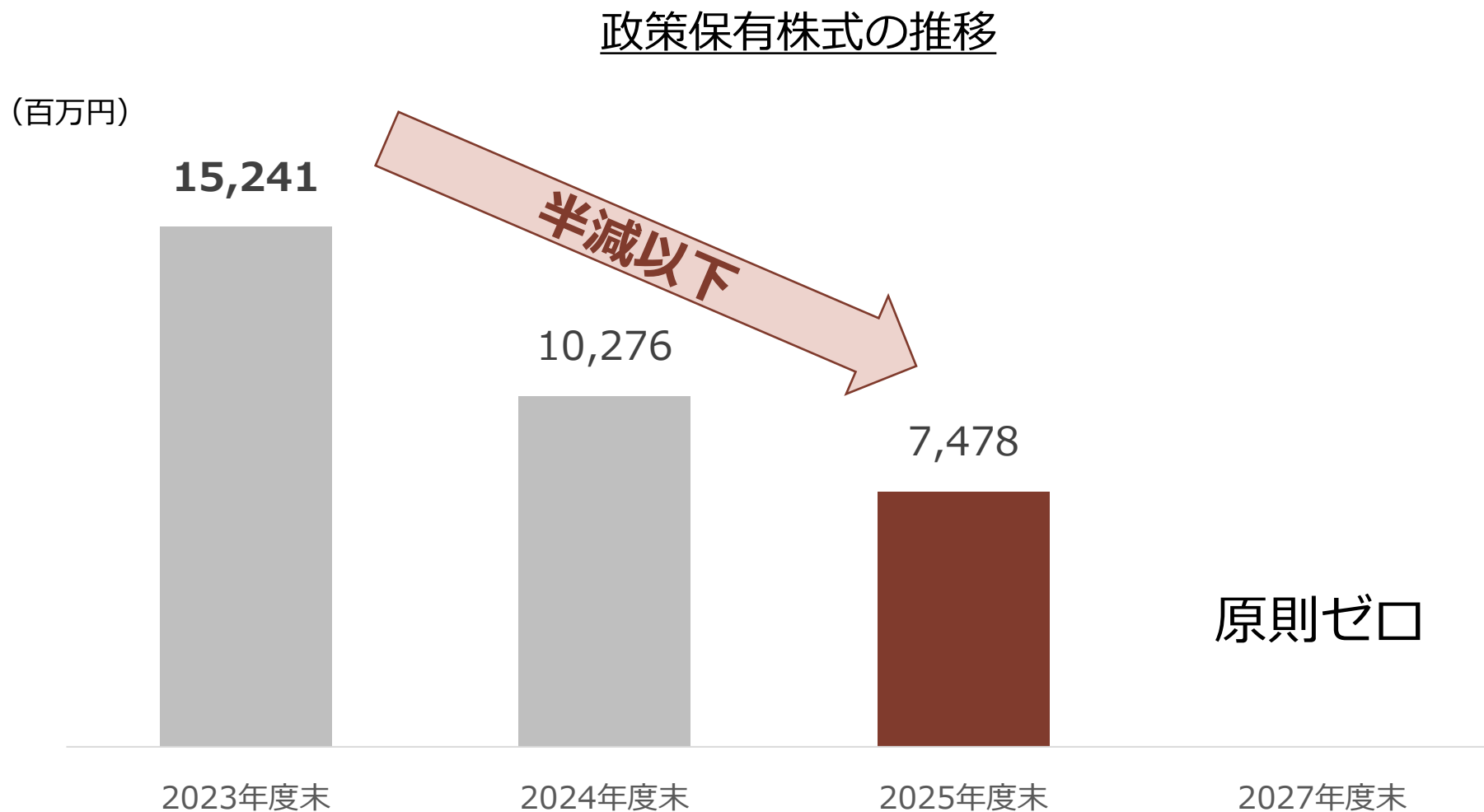
※1 当社価格指数：当社グループ使用量ベースの加重平均価格（2006年度を100とする）
 ※2 自社管理圃場：当社グループによる直接的な栽培指導ができ、栽培にかかるコストの把握とそれに基づく購入価格設定が可能な圃場。
 中長期的に高品質・高価値な生薬を市場よりも優位かつ安定的に調達できる。

設備投資：予定している主な大型投資

群馬工場を中心に第2期中計期間の投資予定金額を大きく減額

製造工程	主な投資内容	第1期中計 (実績)	中計策定時点 第2期中計	見直し後 第2期中計	総額
工キス粉末 製造工程	天津工場（1～3期製造棟および付帯設備等）	220億円	40億円	60億円	355億円
	茨城工場（第4SD棟）	80億円	210億円	190億円	270億円
	群馬工場（1期工事）	18億円	500億円	170億円	未定
造粒・包装工程	茨城工場（新造粒包装棟）	27億円	390億円	410億円	430億円
保管能力の増強	茨城工場（第3生薬棟）	23億円	50億円	50億円	70億円
	生薬倉庫（夕張、石岡、中国）	14億円	130億円	130億円	145億円
その他	品質管理棟（茨城）	—	80億円	70億円	80億円
	生産設備更新、省力化等	190億円	400億円	290億円	未定
漢方製剤の生産に関わる投資 小計		600億円	1,800億円	1,370億円	
その他			60億円	80億円	
総計			1,860億円	1,450億円	

政策保有株式は半減（2023年度末比）を実現、今後も継続的に縮減を実施



社会課題である重点3領域を中心に情報提供活動を実施

育 育薬処方 G Growing処方

高齢者関連領域

フレイルにともなう諸症状

- G 人参養栄湯
- G 加味帰脾湯
- G 補中益気湯
- 育 牛車腎気丸 + 関連処方

循環器疾患における周辺症状

- G 五苓散 + 関連処方

精神・神経疾患

- 育 抑肝散 + 関連処方

消化器疾患

- 育 大建中湯
- 育 六君子湯 + 関連処方

がん領域 (支持療法)

副作用の軽減など

- 育 六君子湯
- 育 半夏瀉心湯
- 育 牛車腎気丸
- G 加味帰脾湯
- G 補中益気湯 + 関連処方

女性関連領域

産婦人科疾患

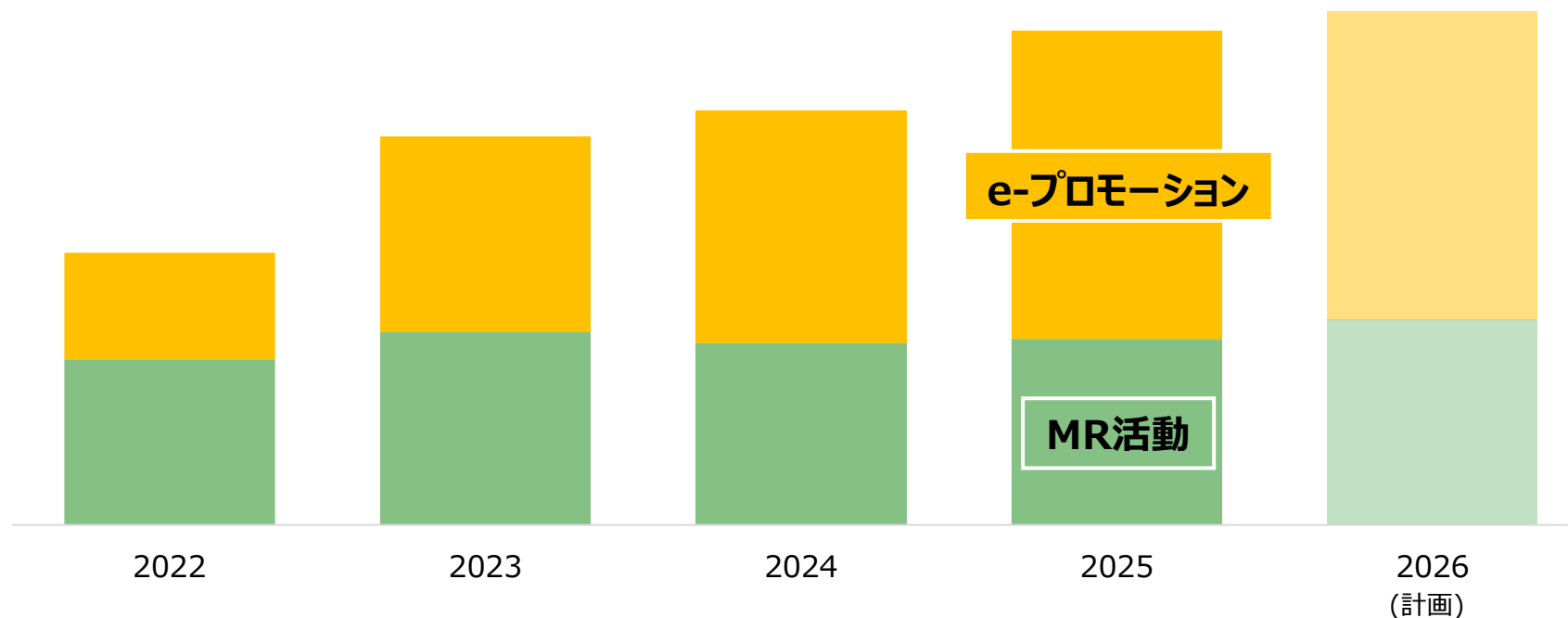
- G 加味逍遙散
- G 加味帰脾湯 + 関連処方

その他

- 育 大建中湯
- G 五苓散 + 関連処方

- ・ディテールインパクトはe-プロモーションを中心に大幅な増加
- ・2026年度も前年を上回るディテールインパクトを目指す

ディテールインパクト件数*



出所：インテージヘルスケア調査「Impact Track」

*：ディテールインパクト件数：MR活動やインターネットなど各チャネルからの情報認知件数（推計）

MR活動：MRを介したディテール、オンライン面談、院内説明会など

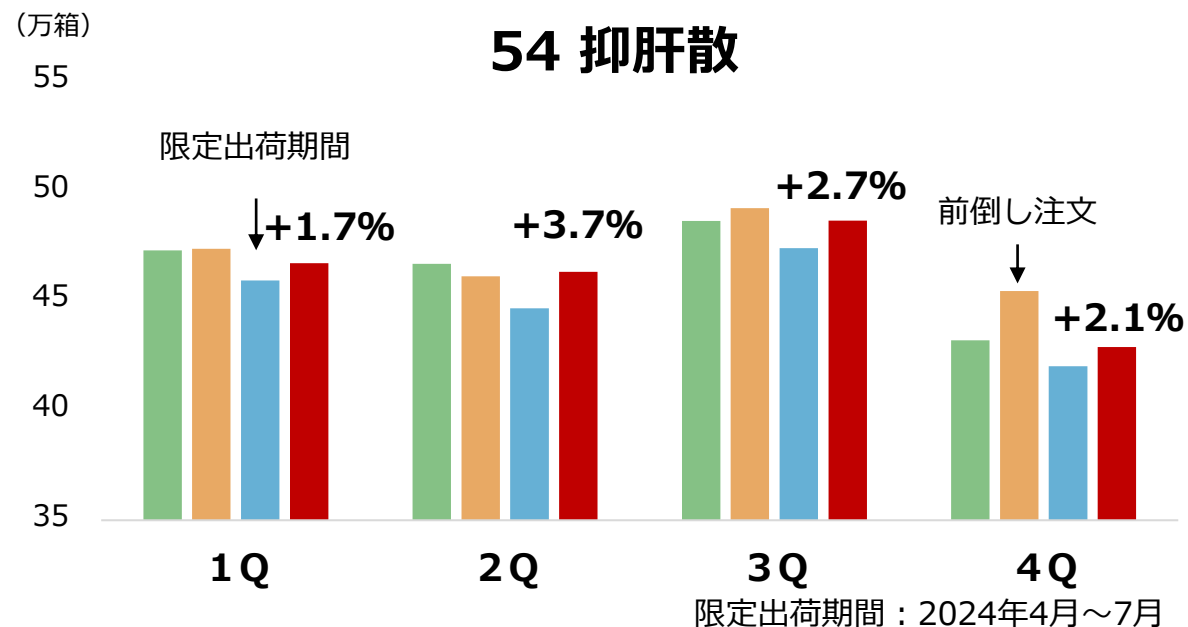
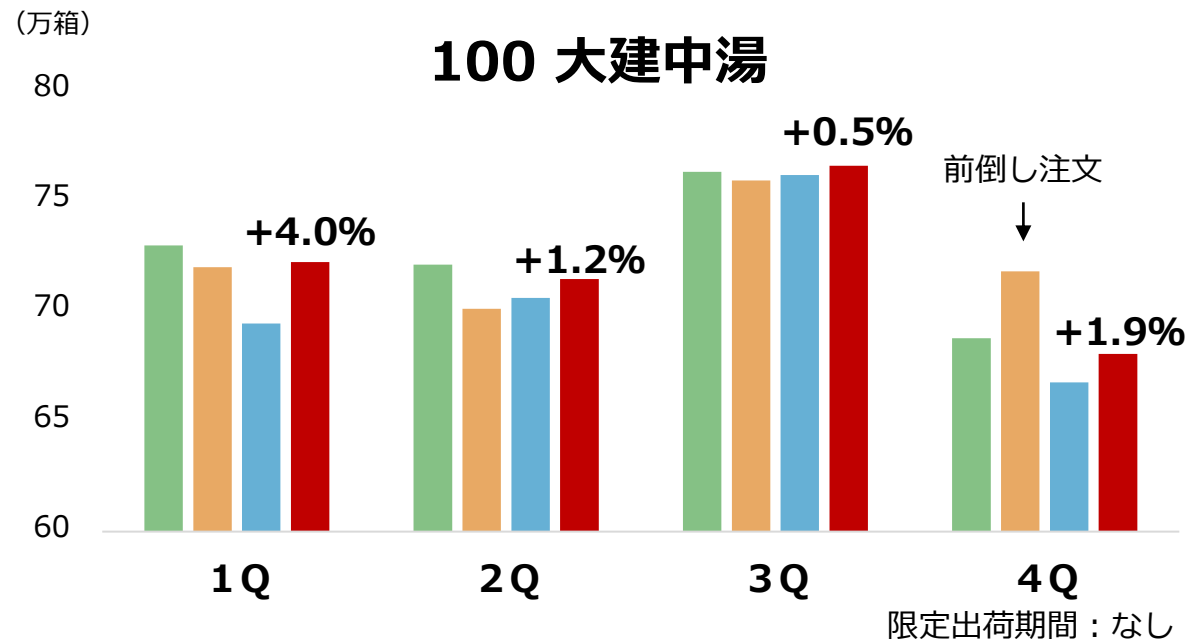
e-プロモーション：MRを介さないオンライン上の情報提供活動

データ期間：2022年4月～2026年3月

国内事業：実売数量推移（大建中湯・抑肝散）



■ 2022年度 ■ 2023年度 ■ 2024年度 ■ 2025年度



22～23年度：コロナの影響で手術数減少や他処方への限定出荷の影響により横ばい

24年度：薬価改定による23年度4Qの前倒し注文の影響を考慮するとほぼ横ばい

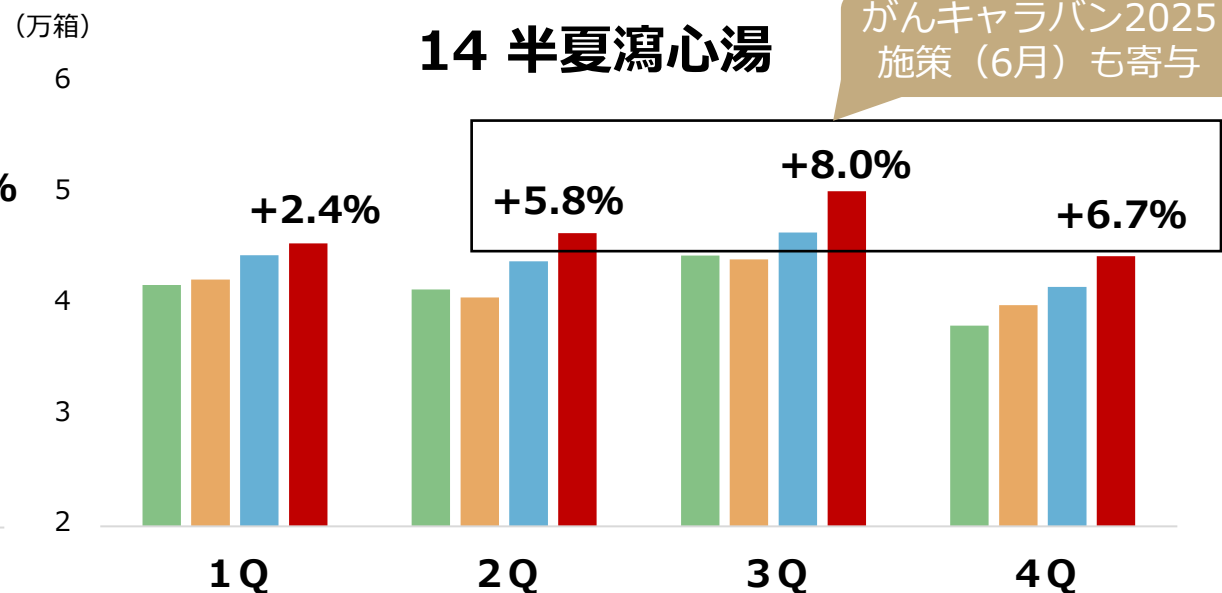
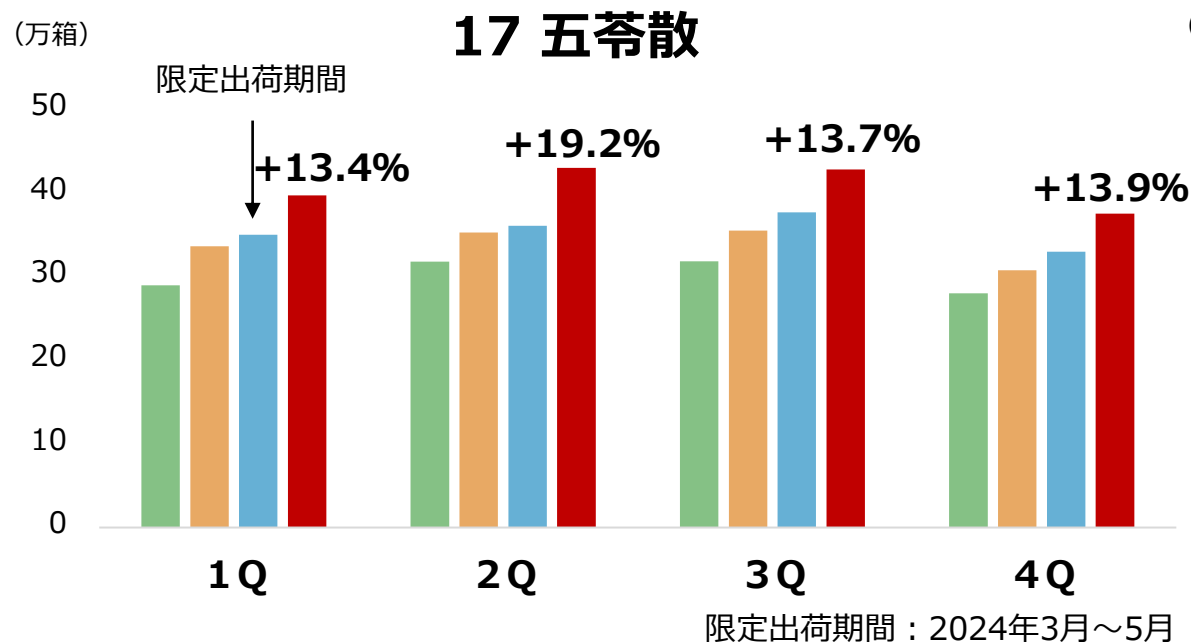
25年度：大学・臨床研修指定病院での活動継続の効果が表れ回復。全四半期で前年同期間を上回って推移

24年度：限定出荷前の前倒し注文の影響や他処方への切替もあり減少。限定出荷解除後も、一部他処方への再限定出荷もあり回復が遅れる

25年度：認知症に伴う精神神経症状を中心とした展開により、前年対比で回復

国内事業：実売数量推移（五苓散・半夏瀉心湯）

■ 2022年度 ■ 2023年度 ■ 2024年度 ■ 2025年度



23年度：浮腫、めまい、頭痛等の症状で脳神経外科、耳鼻科等で伸長が継続

24年度：限定出荷期間に伸び悩んだが、解除後回復

25年度：気象病に伴う頭痛・めまいを中心とした用途拡大、循環器領域での使用拡大が進み、2桁成長継続

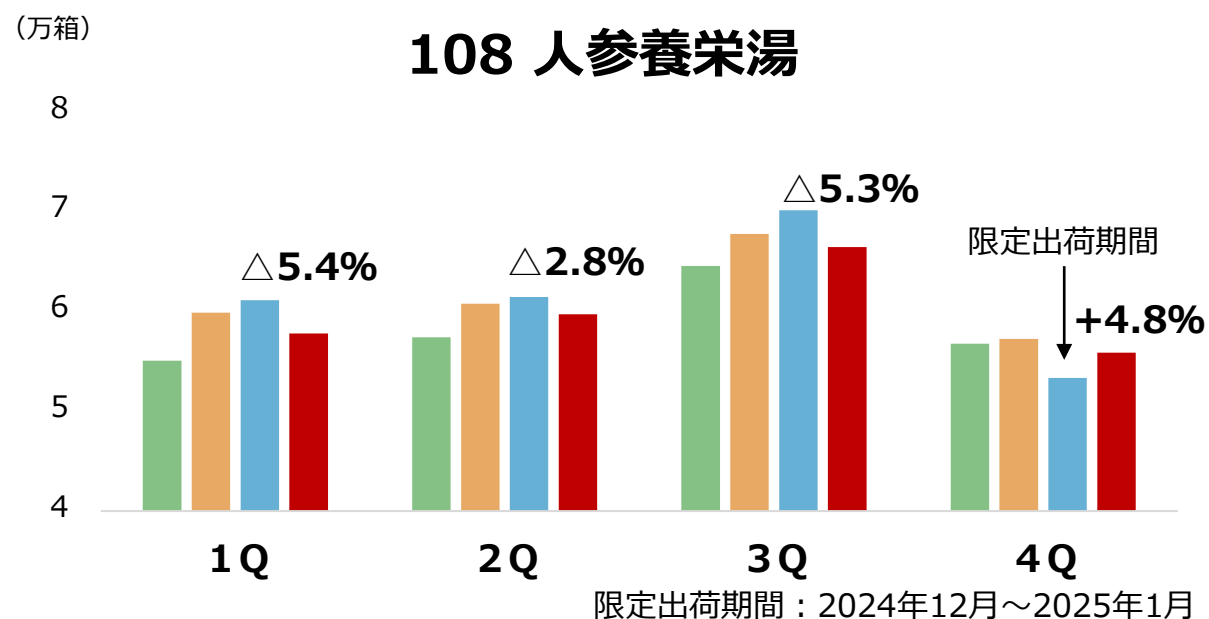
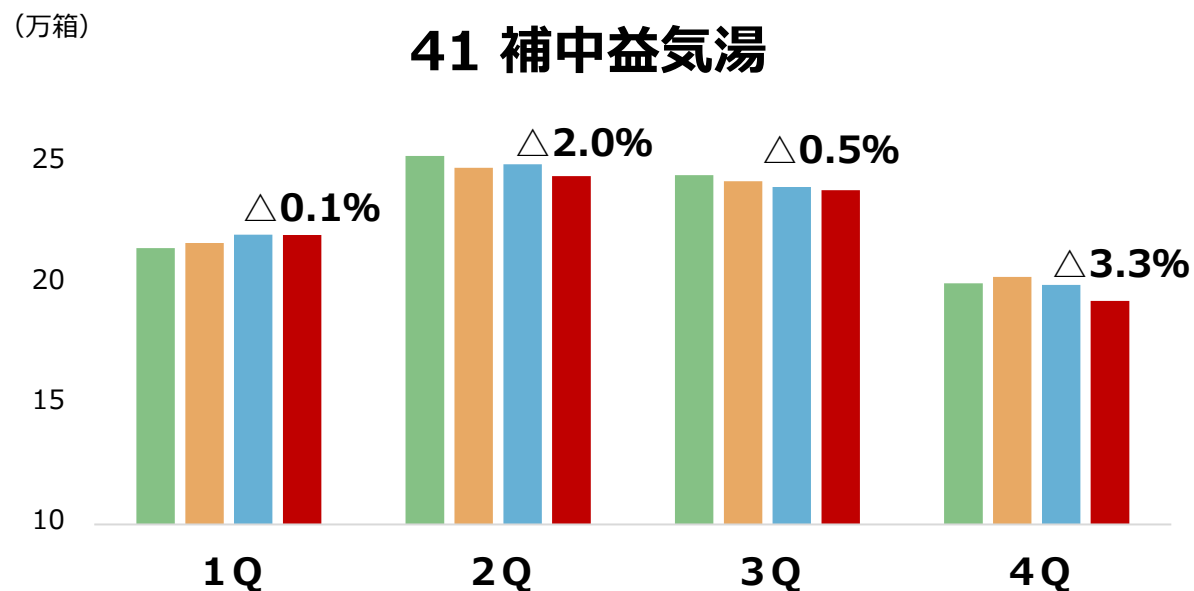
22～23年度：限定出荷期間中の情報提供の抑制もあり横ばい

24年度：消化器症状（逆流性食道炎による胸やけ、過敏性腸症候群による下痢、口内炎）等の施策奏功

25年度：がんキャラバン（口内炎）後のフォロー活動や過敏性腸症候群に伴う下痢症状への訴求により伸長

国内事業：実売数量推移（補中益気湯・人参養栄湯）

■ 2022年度 ■ 2023年度 ■ 2024年度 ■ 2025年度



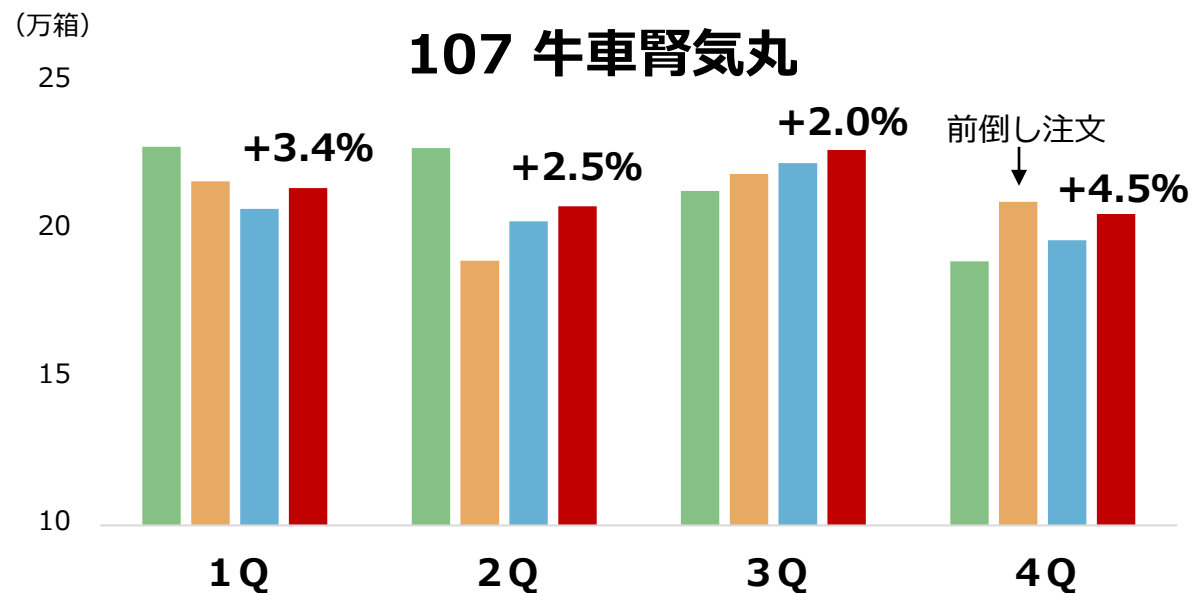
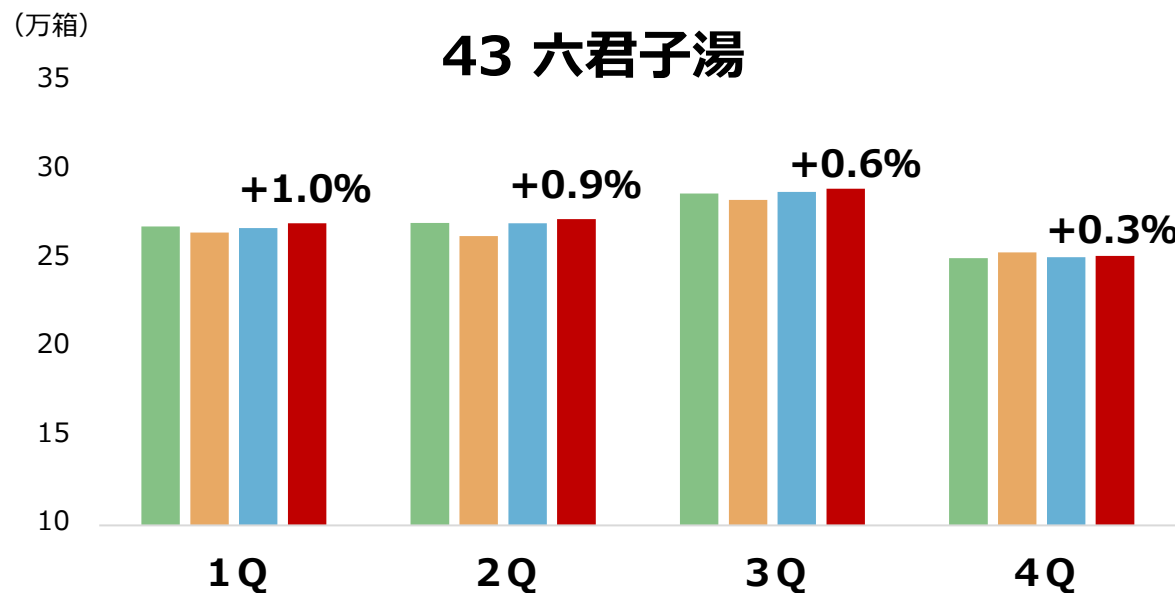
22～23年度:コロナ後遺症などの倦怠感の需要で伸長
 24年度:コロナ後退も、夏やせなどの需要で横ばい
 25年度:コロナ関連需要の反動により低迷。がん領域では、がんキャラバン2025を通じて疲労倦怠感への情報提供活動を継続強化

24年度:限定出荷により一部他社製品へ移行
 25年度:限定出荷後の回復が遅れ、低迷。24年度4Qには、限定出荷の影響を受けた反動もあり回復が見られた

国内事業：実売数量推移（六君子湯・牛車腎気丸）



■ 2022年度 ■ 2023年度 ■ 2024年度 ■ 2025年度



限定出荷期間：22年8月～23年4月

22～23年度:限定出荷期間中に情報提供を抑制し、新規症例の獲得ができない中で横ばい推移

24～25年度:がん領域での病院説明会実施やがんキャラバン2025、Webセミナー等により、胃がん術後の食欲不振に訴求も、小幅伸長に止まる

22～23年度:限定出荷期間が長期間に亘っていたため、解除後の回復に時間を要した

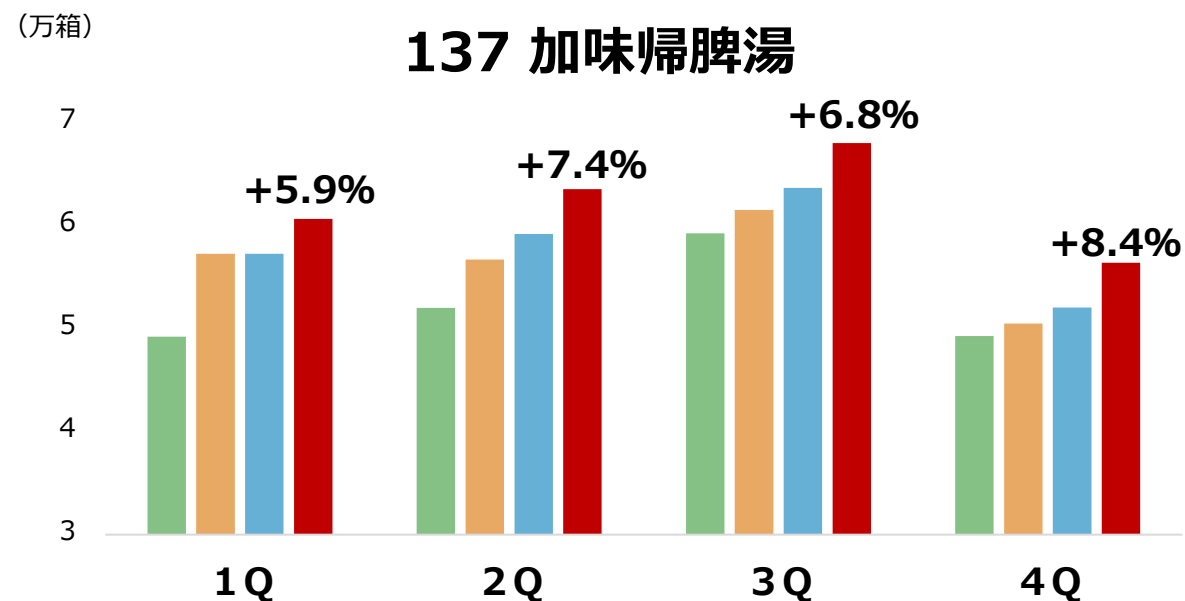
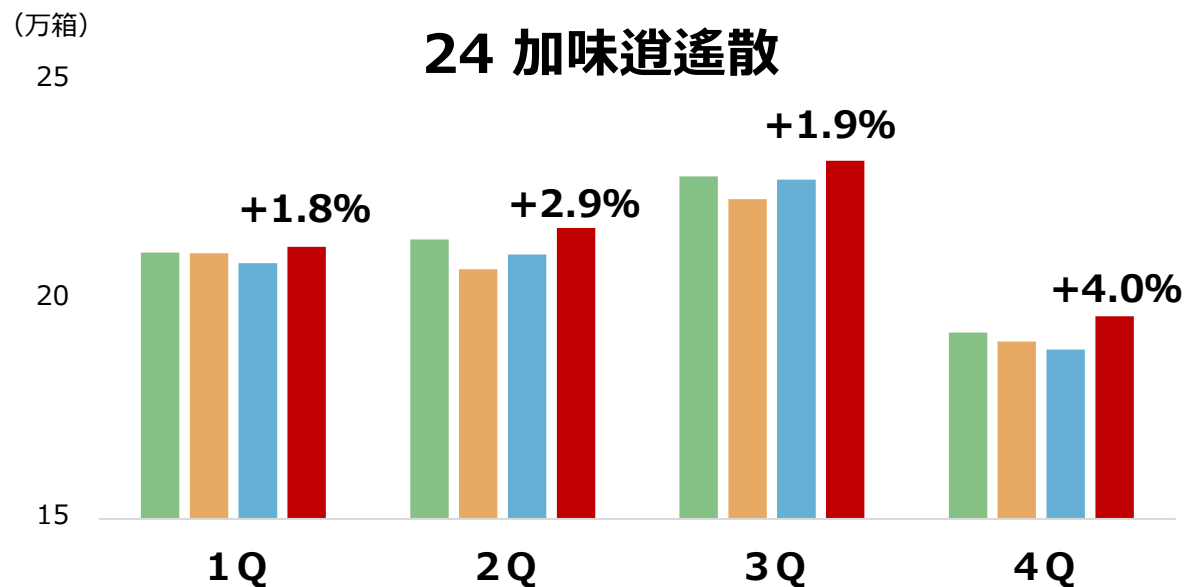
24年度:薬価改定の前倒し注文の影響により1Q減少

25年度:高齢者領域における夜間頻尿を中心に、泌尿器疾患関連での使用が進み伸長

国内事業：実売数量推移（加味逍遙散・加味帰脾湯）



■ 2022年度 ■ 2023年度 ■ 2024年度 ■ 2025年度



22年度:コロナ後遺症の倦怠感や不安の症状で伸長

23~24年度:コロナ需要が減少し、横ばい

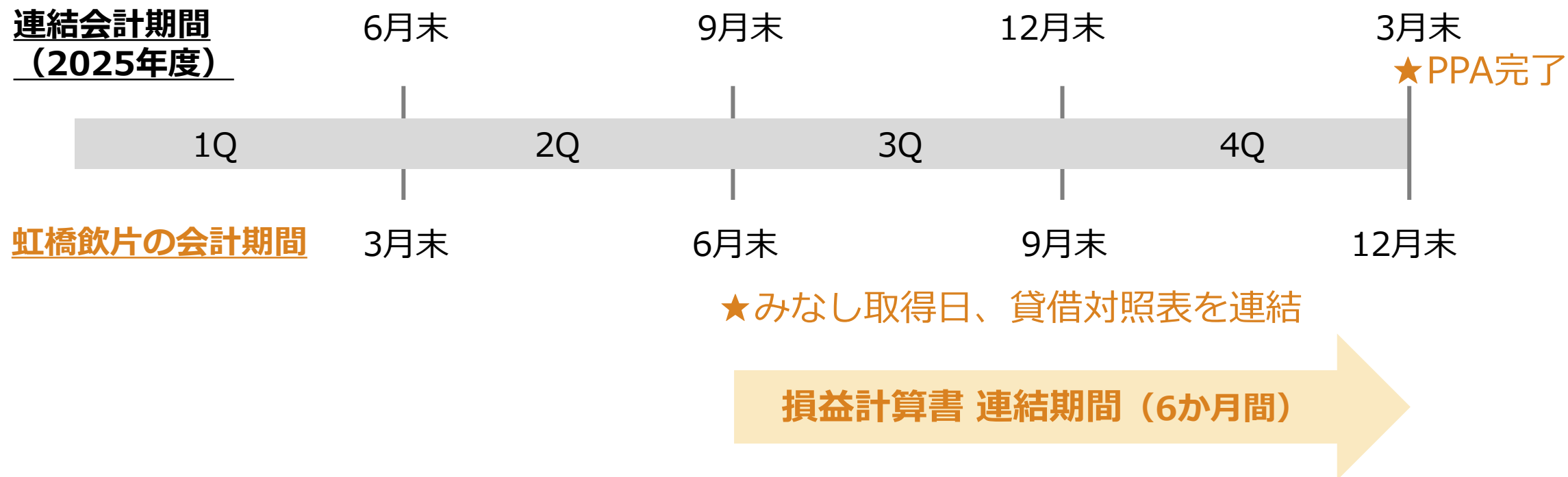
25年度:月経前症候群（PMS）・月経前不快気分障害（PMDD）の精神症状における使い分けが進み、伸長

22~23年度:コロナ後遺症の不安、不眠などの需要により伸長

24年度:不安・不眠の処方として認知定着し継続伸長

25年度:月経前症候群（PMS）・月経前不快気分障害（PMDD）に伴う不安などへの使い分けが進み、伸長

- ・ 2025年度 第2四半期末に貸借対照表を連結、第3四半期から損益計算書を連結



為替（円/元） 期中平均レート ： 損益計算書の連結

	1Q	2Q	3Q	4Q	計画
2024年度	20.63	21.07	20.99	21.04	—
2025年度	20.94	20.44	20.50	20.81	20.30
2026年度	—	—	—	—	22.60

為替（円/元） 期末レート ： 貸借対照表の連結、為替差益（営業外損益）

	3月末	6月末	9月末	12月末
2024年	20.83	22.04	20.46	21.67
2025年	20.59	20.19	20.88	22.36
2026年	23.11	—	—	—

※原料生薬や漢方エキス粉末（中間製品）の輸入に関しては為替予約をしているため、上記レートとは異なります。

CDP評価 (気候変動、水セキュリティ)

**2年連続
最高評価を受賞**



2025年実績

A **A**
気候変動 水セキュリティ

健康経営銘柄・ 健康経営優良法人（ホワイト500）

**健康経営に関する
取り組みが評価**

